

**教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価報告書  
(平成28年度対象)**

**平成29年9月  
川越市教育委員会**

## 目 次

I はじめに	1
II 点検及び評価の実施方法	2
III 施策を評価する表における「指標の推移」及び「成果実績」について	2
IV 学識経験者の知見の活用	3
V 施策評価の基準	3
VI 第二次川越市教育振興基本計画の施策目標値「達成状況総括表」	4
VII 第二次川越市教育振興基本計画の施策目標値「達成状況一覧」	5
VIII 第二次川越市教育振興基本計画「施策評価総括表」	8
IX 第二次川越市教育振興基本計画「施策評価一覧」	9
X 進行管理（点検評価）シート	13
方向性Ⅰ 生きる力を育む学校教育の推進	14
方向性Ⅱ 活力ある地域を創る生涯学習の推進	52
方向性Ⅲ 歴史文化の継承と新しい市民文化の創造	74
方向性Ⅳ 多文化共生と国際交流・協力の推進	86
方向性Ⅴ 生涯スポーツの推進	92

## I はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づいた川越市教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行った結果についてとりまとめたものです。

教育委員会は、市長から独立した立場で教育行政に関する基本方針のもと、学校教育や社会教育など広範かつ専門的な教育行政事務を管理及び執行するために設置された合議制の機関（行政委員会）です。

平成 19 年に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会が事前に策定した「基本方針」にそって具体的な教育行政事務が管理及び執行されているかについて、教育委員会自らが点検及び評価を実施し、その点検及び評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされました。

川越市教育委員会は、平成 28 年 2 月に策定した第二次川越市教育振興基本計画の施策について、教育に関する学識経験を有する方々の知見を活用し、教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行いました。

川越市教育委員会は、この点検及び評価の結果及び知見者の方々からいただいたご意見を生かし、計画的かつ効果的な教育行政を推進してまいります。

<参考>

### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律<抄>

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

なお、平成 23 年度評価対象から川越市教育振興基本計画（計画期間：平成 23 年度～平成 27 年度）の施策を点検及び評価の対象とし、川越市教育振興基本計画（平成 28 年度からは第二次川越市教育振興基本計画）の進行管理の点検評価も併せて、報告書としています。

また、平成 22 年度から、文化及びスポーツに関する事務は教育委員会から市長部局に移管されておりますが、参考として、文化及びスポーツに関する事務について、市長部局において点検・評価を行ったものを併せて報告書に掲載しています。

#### <参考>

#### ○第二次川越市教育振興基本計画第 3 章「計画の推進」

計画を効果的に推進するため、主な施策の目標値を設定するとともに、外部有識者の知見を活用し、事務事業の点検評価を実施することにより、計画の進行管理を行います。また、その結果を踏まえ必要に応じ、施策の見直しを行いながら計画を推進します。

## Ⅱ 点検及び評価の実施方法

川越市教育振興基本計画は、5つの方向性（基本方針）を基に、36 項目の施策の柱と 105 項目の細施策で構成されており、施策の成果を表す目標値として 52 項目を掲げています。点検及び評価は、105 項目の細施策を単位とし、52 項目の目標値や細施策の事業等の実績を基に進捗状況を担当課が評価し、改善の方策を示します。そして、36 の施策の柱ごとに、学識経験者のご意見をいただき、総合的な評価を行います。

## Ⅲ 施策を評価する表における「指標の推移」及び「成果実績」について

- ・「指標の推移」については、平成 32 年度末において達成を目指す施策の目標値（指標）52 項目において成果や達成度を測るために、指標及び説明とともに平成 28 年度までの実績値を掲載しています。
- ・「成果実績」については、目標値の設定がない細施策について、平成 28 年度までの成果実績を数値化し、実績値及び達成状況の把握を行います。

## IV 学識経験者の知見の活用

点検及び評価の実施にあたっては、「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」に関して、下記の3名からご意見をいただき、点検及び評価の内容に反映させていただきました。

五十音順 敬称略

氏 名	役 職
池 田 優 子	川越市 PTA 連合会広報委員長
眞 下 英 二	尚美学園大学教授
水 谷 薫	元川越市立小学校長

## V 施策評価の基準

各細施策、施策の柱の点検及び評価は、次の4区分により達成度の評価を行う。

A 施策、事業の達成度、進ちよくが順調である。

目標値に対し達成度が非常に高い。

目標値の場合、基準値(平成26年度)を基本とし目標値から見て実績値の達成状況が80%以上。

B 施策、事業の達成度、進ちよくがおおむね順調である。

目標値に対し達成度が高い。

目標値の場合、基準値(平成26年度)を基本とし目標値から見て実績値の達成状況が60%以上80%未満。

C 施策、事業の達成度、進ちよくがあまり順調でない。

目標値に対し達成度がやや低い。

目標値の場合、基準値(平成26年度)を基本とし目標値から見て実績値の達成状況が40%以上60%未満。

D 施策、事業の達成度、進ちよくが順調でない。

目標値に対し達成度が低い。

目標値の場合、基準値(平成26年度)を基本とし目標値から見て実績値の達成状況が40%未満。

○目標値は、その施策の目標・目的の中で数値化できるものを表したものです。

施策の評価は、指標の進ちよくだけでなく、その他の事業実績等も包含した上で総合的に評価しています。

## VI 川越市教育振興基本計画の施策目標値「達成状況総括表」

方向性	施策数	施策の 柱 数	細施策数(うち 指標設定のない 細施策数)	目標値の ある指標数	現時点で 目標を 達成済	未達成	
						H27年度より 改善が見られ ている指標	H27年度より 改善が見られ ていない指標
方向性Ⅰ	3	16	51 (27)	26	4	11	11
方向性Ⅱ	2	10	26 (16)	13	4	2	7
方向性Ⅲ	1	5	17 (11)	7	1	3	3
方向性Ⅳ	1	3	6 (2)	4	4	0	0
方向性Ⅴ	1	2	5 (3)	2	0	1	1
合 計	8	36	105 (59)	52	13	17	22

(注) 『達成状況一覧』は、5～7ページに掲載しています。

## Ⅶ 川越市教育振興基本計画の施策目標値「達成状況一覧」

方向性	施策	担当課	指標	名	単	位	現在値 (H26)	H27	H28	H29	H30	H31	H32	目標値	達成状況 及び傾向
								実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値		
I	1 確かな学力と自立する力の育成	教育指導課	勉強は大切と考える児童生徒の割合	%			91.9	92.6	90.3					92.5	
		教育指導課	各種連携会議の参加者数	人			303	307	324					320	
		教育センター	AET配置実績	人			22	23	24					32	
		教育センター	授業における英語担当教員の英語使用状況	%			51.6	20.0	71.0					85.0	
		教育センター	情報モラルに関する指導ができる教員の割合	%			90.0	87.0	83.3					100.0	
		教育センター	授業におけるICT（情報通信技術）活用授業回数	回			51.1	74.8	84.4					75.0	
		教育センター	就学相談での判断と実際の就学状況一致率	%			75.0	79.2	86.6					80.0	
		教育センター	特別支援教育支援員一人あたりの児童生徒数	人			10.5	13.9	10.3					6.0	
		教育センター	特別支援学級授業公開参加者数	人			299	292	284					320	
	2 豊かな心と健やかな体の育成	教育指導課	「規律ある態度」達成率80%以上の項目数（小学校）	項目			67/72	69/72	67/72					72/72	
		教育指導課	「規律ある態度」達成率81%以上の項目数（中学校）	項目			33/36	34/36	33/36					36/36	
		教育指導課	児童一人あたりの読書冊数	冊			54.9	57.9	60.7					56.0	
		教育指導課	生徒一人あたりの年間読書冊数	冊			12.1	12.1	11.5					13.0	
		中央図書館	図書館職員による学校訪問等の学級数	学級			96	96	103					110	
		中央図書館	学校への団体貸出数	冊			7,833	8,494	8,701					11,000	
		教育指導課	いじめは、どんな理由があってもいけないと考える児童生徒の割合	%			96.1	95.7	95.8					100.0	
		教育センター	スクールカウンセラーが関わりを持ち、解決した割合	%			77.5	77.5	79.0					85.0	
		教育センター	さわやか相談員が関わりを持ち、解決した割合	%			87.3	85.0	82.9					90.0	
		教育センター	学生が関わったことによって、何らかの形で学校復帰が図れている児童生徒の割合	%			78.9	78.3	61.1					85.0	
	3 質の高い教育を支える教育環境の充実	教育センター	奨励研修参加率	%			48.0	47.9	50.5					55.0	
		学校管理課	研修参加教員数	人			25	29	30					49	
		教育財務課	大規模改造工事の推進	%			59.8	61.4	62.9					81.0	
		教育指導課	小学校における学校図書館図書標準の達成率	%			83.3	86.9	89.2					92.4	
		学校給食課	学校給食における地場産物の使用割合	%			8.1	22.9	18.5					22.0	
		教育センター	保護者・地域との連携研修参加者数	人			103	107	99					120	

方向性	施策担当課	指標	名	単	位	現在値 (H26)	H27	H28	H29	H30	H31	H32	目標値	達成状況 及び傾向
							実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	H32	
II	1 家庭・地域の教育力の向上	地域教育支援課	子どもサポート事業への参加者数	人	32,935	41,765	50,841						33,330	
		中央公民館	講座数	講座	292	280	237						300	
		中央公民館	講座参加者数	人	24,907	29,306	28,087						25,000	
	2 生涯学習活動の推進	中央公民館	公民館主催事業の講座数	講座	128	130	103						130	
		中央公民館	公民館主催事業の講座参加者数	人	20,152	17,963	7,609						21,000	
		中央図書館	図書館の貸出冊数	冊	1,845,426	1,848,799	1,803,754						1,950,000	
		中央図書館	図書館の蔵書数	冊	836,315	843,893	852,908						860,000	
		中央図書館	図書館の事業開催回数	回	456	472	479						470	
		博物館	博物館の入館者数	人	98,205	98,025	96,516						100,000	
		博物館	博物館の収蔵資料点数	校	37,746	37,816	37,985						40,000	
		博物館	博物館講座・教室受講満足度	人	95.3	95.1	93.1						97.0	
		博物館	教育課程に位置付けた博物館活用中学校数	点	358	354	376						370	
		文化芸術振興課	川越大学間連携講座の受講者数	人	251	362	193						280	
III	1 文化財の保護と文化芸術活動の充実	文化財保護課	文化財数	件	264	266	265						276	
		都市景観課	伝統的建造物の修理件数	件	57	61	64						76	
		文化芸術振興課	協働による文化芸術事業件数	件	7	8	9						10	
		文化芸術振興課	文化施設の利用者数	人	311,899	309,023	301,354						321,000	
		美術館	美術館の常設展観覧者数	件	38,934	33,269	41,917						39,000	
		美術館	美術館の特別展観覧者数	回	28,718	23,653	27,819						30,000	
		美術館	川越市立中学校美術部の祭典の参加校数	校	20	21	20						22	

方向性	施策	担当課	指標名	単 位	現在値 (H26)	H27	H28	H29	H30	H31	H32	目標値	達成状況 及び傾向
						実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	H32	
IV	1 多文化共生と国際交流・協力の推進	国際文化交流課	外国籍市民と日本人市民との年間交流者数	人	7,722	8,555	10,014					8,500	
			外国籍市民の日本語教室への参加者数	人	3,373	3,604	4,711					3,900	
			国際交流センターでの人材育成講座の受講者数	人	982	1,738	1,861					1,500	
			ボランティア活動者数	人	2,666	2,795	3,154					3,000	
V	1 生涯スポーツの推進	スポーツ振興課	総合型地域スポーツクラブ設置数	件	3	3	4					5	
			施設利用人数	人	287,170	291,840	259,539					293,500	

(注) 達成状況及び傾向についての見方

指標の改善傾向	内 容
	現時点で目標が達成されている指標
	H27年度より改善が見られている指標
	H27年度より改善が見られていない指標 (数値が変わらなかったもの)
	H27年度より改善が見られていない指標 (数値が悪化・減少したもの)

## Ⅷ 川越市教育振興基本計画 「施策評価総括表」

方向性	施策数	施策の 柱数	総合評価内容				(施策の柱) 施策評価内容				細 施策 数	(細施策) 施策評価内容			
			A	B	C	D	A	B	C	D		A	B	C	D
方向性 Ⅰ	3	16	5	11	0	0	5	11	0	0	51	16	35	0	0
方向性 Ⅱ	2	10	6	4	0	0	6	4	0	0	26	13	10	3	0
方向性 Ⅲ	1	5	3	2	0	0	3	2	0	0	17	8	8	1	0
方向性 Ⅳ	1	3	3	0	0	0	3	0	0	0	6	6	0	0	0
方向性 Ⅴ	1	2	0	2	0	0	0	2	0	0	5	0	5	0	0
合計	8	36	17	19	0	0	17	19	0	0	105	43	58	4	0

## Ⅹ 川越市教育振興基本計画 「施策評価一覧」

### 方向性Ⅰ 生きる力を育む学校教育の推進

#### 施策1 確かな学力と自立する力の育成

施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1) 確かな学力の育成	B	B	B ①学力向上対策の推進	14	教育指導課
			B ②各学校の課題に応じた学校支援事業の推進	14	学校管理課
			A ③科学わくわくラーニングプログラム事業の推進	15	教育指導課
(2) 校種間連携の推進	B	B	B ①小学校・中学校連携の推進	16	学校管理課
			B ②中学校・市立川越高等学校連携の推進	16	
			A ③幼稚園・保育園・小学校連携の推進	17	教育指導課
(3) グローバル化に対応する教育の推進	A	A	B ①英語指導助手(AET)の配置事業の充実	18	教育センター
			A ②小学校外国語活動の推進	18	
			B ③小学校・中学校英語教育の充実	19	
			A ④国際理解教育の推進	19	
(4) 進路指導・キャリア教育の充実	A	A	A ①地域・関係機関と連携した社会体験活動の充実	21	教育指導課
(5) 情報教育の推進	B	B	B ①ICT教育の推進	22	教育センター
			B ②情報モラル教育の推進	22	
			A ③コンピュータ施設・設備の充実と活用	23	
(6) 特別支援教育の充実	B	B	A ①就学支援委員会の充実	24	教育センター
			B ②一人ひとりのニーズに応じた指導や支援の充実	24	
			B ③特別支援教育の理解・啓発の推進	25	
			B ④市立特別支援学校のセンター的機能の充実	25	教育センター 特別支援学校

#### 施策2 豊かな心と健やかな体の育成

施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1) 豊かな心を育む教育の推進	B	B	B ①道徳教育の充実	27	教育指導課
			B ②規律ある態度の育成の推進	27	
			A ③読書活動の充実	28	
			B ④市立図書館司書等による読み聞かせの推進	28	中央図書館
			A ⑤市立図書館から学校への図書貸出の推進	29	
(2) 生徒指導の充実	B	B	B ①いじめ防止対策の推進	30	教育指導課
			B ②不登校対策の推進	30	教育センター
			B ③教育相談の充実	31	
			B ④いきいき登校サポートプランの推進	31	
(3) 健康の保持増進と安全・体力向上の推進	A	A	A ①学校保健活動の推進	33	教育指導課
			A ②食育の推進	33	教育指導課 学校給食課
			B ③体力向上の推進	34	教育指導課
			B ④安全・防災教育の推進	34	

#### 施策3 質の高い教育を支える教育環境の充実

施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1) 教職員の資質向上	B	B	A ①経験・職能別研修の充実 (平成29年度より、経験者・特定研修の充実として実施)	36	教育センター
			B ②管理職等研修の充実	36	学校管理課
			B ③奨励研修の充実 (平成29年度より、専門研修の充実として実施)	37	教育センター
			B ④若手・中堅教員の育成	37	学校管理課 教育センター
			B ⑤大学等進学指導力向上研修の推進	38	学校管理課 市立川越高等学校
(2) 学習環境の整備・充実	B	B	B ①大規模改造工事等学校施設の整備の推進	39	教育財務課
			A ②普通教室への空調設備の設置	39	
			B ③学校図書館の充実	40	教育指導課
			B ④教育機会均等化のための支援	40	教育総務課 教育財務課

## Ⅹ 川越市教育振興基本計画 「施策評価一覧」

### 方向性Ⅰ 生きる力を育む学校教育の推進

#### 施策3 質の高い教育を支える教育環境の充実

施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(3) 学校給食の充実	A	A	B ①給食内容の充実	42	学校給食課
			A ②学校給食施設の整備	42	
(4) 市立川越高等学校の改革・充実	B	B	B ①市立川越高等学校将来構想の検討と推進	44	学校管理課 市立川越高等学校
			B ②市立川越高等学校教育環境の整備・充実	44	市立川越高等学校
(5) 教育センターの充実	B	B	B ①教育センターの整備・開放の充実	46	教育センター
			B ②保護者・地域との連携研修の充実	46	
(6) 地域に開かれた特色ある学校づくりの推進	A	A	A ①学校評議員制度の充実	48	学校管理課
			A ②地域人材活用事業の充実	48	
			B ③日本語指導ボランティアの充実	49	
			B ④学校評価の活用	49	
(7) 小・中学校の適正規模・適正配置	B	B	B ①小・中学校の適正規模・適正配置等の検討	51	学校管理課

### 方向性Ⅱ 活力ある地域を創る生涯学習の推進

#### 施策1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1) 家庭への支援	A	A	A ①家庭教育の支援	52	地域教育支援課
			B ②学童保育の充実	52	教育財務課
(2) 地域の教育力の向上	A	A	A ①学校・家庭・地域の連携推進	54	地域教育支援課
			A ②社会教育関係団体への支援	54	
			B ③地域の教育活動への支援	55	中央公民館

#### 施策2 生涯学習活動の推進

施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1) 生涯学習を推進する基礎づくり	B	B	B ①生涯学習を推進するための体制の充実	56	文化芸術振興課 中央公民館
			B ②市民参加の体制の充実	56	
(2) 市民の学習ニーズの把握及び生涯学習情報の充実	A	A	A ①学習ニーズの把握	58	文化芸術振興課
			A ②市民が利用しやすい生涯学習情報の提供	58	
(3) 社会の変化に応じた学習機会の提供	B	B	A ①ライフステージにおける課題の学習	60	中央公民館
			C ②現代的課題の学習	60	
(4) 人権施策の推進	A	A	A ①人権教育の充実	62	地域教育支援課
			A ②人権啓発資料の活用	62	
			A ③人権教育指導者の養成	63	
			A ④関係機関・団体等との連携	63	
(5) 身近な学習施設の整備・運営	B	B	B ①公民館の設置	65	地域教育支援課
			B ②既存公民館の整備・運営	65	中央公民館
(6) 市立図書館の充実	A	A	C ①図書館サービスの充実	67	中央図書館
			A ②図書館資料・情報提供サービス機能の充実	67	
			A ③図書館を活用した学習活動の推進	68	
(7) 博物館の整備・充実	B	B	C ①展示機能の充実	69	博物館
			B ②郷土資料の収集・保存	69	
			B ③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	70	
			B ④博物館・蔵造り資料館の整備	70	
(8) 高等教育機関との連携の推進	A	A	A ①高等教育機関との連携体制の充実	72	文化芸術振興課
			B ②共催による講座等の充実	72	

## Ⅷ 川越市教育振興基本計画 「施策評価一覧」

### 方向性Ⅲ 歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

施策1 文化財の保護と文化芸術活動の充実					
施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1)文化財の保護	B	B	B ①文化財指定等による保護	74	文化財保護課
			B ②文化財保護意識の啓発	74	
			C ③無形民俗文化財の保存と後継者の育成	75	
			B ④有形文化財の保存と活用	75	
			A ⑤重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実	76	都市景観課
			B ⑥河越館跡の整備・活用	76	文化財保護課
			B ⑦山王塚古墳の整備	77	
(2)文化芸術の振興	A	A	A ①連携・協働による新たな文化芸術の創造	78	文化芸術振興課
			A ②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり	78	
(3)文化芸術に触れる機会づくり	A	A	A ①文化芸術が身近にある環境づくり	80	文化芸術振興課
			A ②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり	80	
(4)文化芸術活動への支援と文化交流の促進	B	B	B ①文化芸術活動への支援	82	文化芸術振興課
			B ②文化芸術活動の場の整備	82	
			A ③文化交流の促進	83	
(5)美術館の充実	A	A	A ①展覧会等の充実	84	美術館
			B ②創作活動・発表の場の提供	84	
			A ③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	85	

### 方向性Ⅳ 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策1 多文化共生と国際交流・協力の推進					
施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1)誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくりの推進	A	A	A ①共生意識を醸成するための相互理解の推進	86	国際文化交流課
			A ②外国籍市民への支援	86	
(2)国際感覚に優れた市民の育成	A	A	A ①人材の発掘と育成	88	国際文化交流課
			A ②国際交流に関係する市民団体等との協力と連携	88	
(3)姉妹・友好都市交流の充実	A	A	A ①姉妹・友好都市との交流事業の充実	90	国際文化交流課
			A ②さまざまな地域との新たな交流の創出	90	

### 方向性Ⅴ 生涯スポーツの推進

施策1 生涯スポーツの推進					
施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1)スポーツ活動の推進	B	B	B ①総合型地域スポーツクラブの設置・育成	92	スポーツ振興課
			B ②スポーツ教室・大会等の充実	92	
(2)スポーツ環境基盤整備	B	B	B ①スポーツ指導者等の養成・活用	94	スポーツ振興課
			B ②スポーツ施設の整備・充実	94	
			B ③学校体育施設の活用	95	

※網掛け  は文化スポーツ部  
 ※網掛け  は都市計画部



# X 進行管理(点検評価) シート

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 1 確かな学力と自立する力の育成  
 【施策の柱】 (1)確かな学力の育成

細 施 策	①学力向上対策の推進							担当課	担当課評価
								教育指導課	B
施策の内容	<p>・「川越市小・中学生学力向上プラン」に基づき、教育委員会と各市立小・中学校が一体となって本市の学校教育の充実を図ります。</p> <p>・学力向上研究委員会の活動を推進し、児童生徒の学力を継続的に把握・分析し、さまざまな学力向上対策を推進します。</p>								
平成28年度実績	<p>・川越市小・中学生学力向上プランの趣旨を踏まえ、市立学校の校長、教員で構成した小学校部会、中学校部会、学級経営部会を組織し、年間を通して学力向上研究委員会を開催しました。</p> <p>・全国学力・学習状況調査等、各種学力調査を分析し、児童生徒の学力における実態の把握に努めました。</p> <p>・学力向上研究委員会において、児童生徒の思考力・判断力・表現力を高めるためのモデル授業プランを作成しました。</p>								
指標及び説明	【指標】 勉強は大切と考える児童生徒の割合				【説明】 全国学力・学習状況調査質問紙において、「国語や算数・数学の勉強は大切だと思う」と回答した児童生徒の割合(対象:小学校第6学年・中学校第3学年)				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
	%	91.9	H27 92.6	H28 90.3	H29	H30	H31	H32	92.5
現状・課題	<p>・各種学力調査の結果分析から、児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能は、おおむね身に付いているとの数値が出ています。</p> <p>・基礎的・基本的な知識・技能を活用し、様々な課題を解決するための「思考力・判断力・表現力の育成」が課題となっています。</p> <p>・「数学の勉強は大切だと思う」と回答した中学3年の割合が、83.2%であり、他と比べ低い状況がみられます。</p>								
改善の方策等	<p>・教育委員会と、各小・中学校が目標を共有し、児童生徒一人ひとりの学力向上に向けた計画的・継続的な取組を推進してまいります。</p> <p>・学力向上研究委員会において、「思考力・判断力・表現力の育成」に向けた、教職員の指導力向上のための研究を継続してまいります。</p> <p>・モデル授業プランの取組を推奨し、児童生徒が勉強が好きになり、大切であるという意識が高まるよう努めます。</p>								

細 施 策	②各学校の課題に応じた学校支援事業の推進				担当課	担当課評価
					学校管理課	B
施策の内容	子どもたちの心の教育・学力向上・いじめの未然防止等、各学校におけるさまざまな課題に応じ、オールマイティーチャーター(臨時講師)を配置し、課題解決を図ります。					
平成28年度実績	校長の創意を生かした企画書に基づき、各学校の課題に応じて、市内の小学校3校に3人、中学校11校に11人(国語1人、社会1人、数学1人、理科3人、英語1人、保健体育3人、美術1人)の市費による教員を配置しました。これにより、子どもたち一人ひとりに応じたきめ細かな教育活動を推進することができました。					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	臨時講師配置状況(人)	13	14	14		
	配置校の内、課題の解消率が60%以上の学校の割合(%)	92.3	84.6	71.4		
現状・課題	<p>各学校の課題に応じた活用により、きめ細やかな指導ができました。配置校では、加配により生徒指導主任や教育相談主任に機動力が生まれ、生徒指導体制の充実が図れました。これにより、いじめの発生件数の減少や未然防止、授業規律が図られたことによる学力向上等の成果を得るなど一定の成果を上げています。しかし、解決のしやすい課題から解決の難しい課題が増加したことが、解消率に影響しています。そのため、課題の解決には、複数年の取組が必要な場合や、課題の解決が図れた場合でも、改善された状況を維持・向上していくため、継続的な配置を行う必要があります。</p>					
改善の方策等	<p>配置した学校での効果を検証しながら、必要とする学校に対し、各課題に応じて教員を配置し、生徒指導体制の充実や学力向上に向け、子どもたち一人ひとりに応じたきめ細かな教育活動を推進していきます。また、課題解決につながるよう、各学校での活用方法について指導したり、配置の工夫をするなどして、効果的かつ柔軟な運用により、学校の多様なニーズに対応していきます。</p>					

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 1 確かな学力と自立する力の育成  
 【施策の柱】 (1)確かな学力の育成

細 施 策	③科学わくわくラーニングプログラム事業の推進				担当課	担当課評価
					教育指導課	A
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校6年生を対象に、小学生科学体験事業を実施し、講演会、実験実習、科学施設の見学や体験活動の取組の充実を図ります。</li> <li>・理科実験助手派遣事業、小・中・大学連携理科ふれあい事業を推進します。</li> </ul>					
平 成 2 8 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生科学体験事業として、市内小学校6年生79名を対象に、1日目に講演会、2日目に実験・実習、3日目に日本科学未来館で体験学習を行いました。</li> <li>・理科実験助手派遣事業により、小学校14校に理科実験助手を派遣しました。</li> <li>・小・中・大学連携理科ふれあい事業を小学校11校・中学校2校で実施しました。</li> </ul>					
成 果 実 績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	小学校科学事業実施後アンケートにおいて「体験学習等を通じて科学的に考えることができた」と回答した児童の割合(%)	—	97.40%	96.20%		
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学体験事業に参加した児童や小・中・大学連携理科ふれあい事業を実施した学校の児童生徒から、理科に対する興味・関心や知的好奇心が高まったという感想が寄せられています。</li> <li>・計画的に理科実験助手の派遣人数を拡大することで、理科授業の工夫・改善や理科室の環境整備が進められており、計画は順調に進捗しています。</li> <li>・小学生科学体験事業において、学習内容が参加した児童にとどまる傾向がみられます。</li> </ul>					
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学体験事業において、科学の講演会に係る講師や科学体験指導員による実験・実習指導の充実を図り、児童生徒の理科に関する知的好奇心や探究心を深めるようにします。</li> <li>・小学校に理科実験助手を計画的に派遣し、市内小学校の実験準備を円滑にするとともに教員の指導技術を高められるようにします。</li> <li>・小・中・大学連携理科ふれあい事業において、大学との連携を積極的に進め、児童生徒の理科に関する興味・関心を広げるようにします。</li> </ul>					

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 1 確かな学力と自立する力の育成

施 策 の 柱	(1)確かな学力の育成				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施 策 評 価	①学力向上対策の推進	教育指導課	B	B	B
	②各学校の課題に応じた学校支援事業の推進	学校管理課	B		
	③わくわくラーニングプログラム事業の推進	教育指導課	A		
学 識 経 験 者 等 意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オールマイティーチャアの配置について、いじめ等校内の問題については初期対応が大切だと思うが、生徒指導に当たる人材育成と同時に人的な配置が必要であると思われるので、充実を図っていただきたい。</li> <li>・学力向上については、学校が楽しい、授業が面白いというようなことの積み重ねで体得していく部分が大切だと思うので、科学わくわくラーニングプログラムのような事業を長年取り入れられていることは評価できる。</li> <li>・理科実験助手の派遣について、理科の実験がうまく成功するかしないかは事前の準備等で変わってくるので、その部分をフォローしてくれる理科実験助手の人員の増加が図れるように努めていただきたい。</li> </ul>				

- 【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 1 確かな学力と自立する力の育成  
 【施策の柱】 (2)校種間連携の推進

細 施 策	①小学校・中学校連携の推進				担当課	担当課評価
					学校管理課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内全小・中学校を8つのブロックに分け、それぞれのブロックごとに情報や課題等を共有しながら、接続校同士の連携を一層深めていきます。</li> <li>校長のリーダーシップのもと、教育委員会から各ブロックに指導主事を配置する等サポートをしながら、これまでの取組の見直しや改善を図り、より一層の充実・活性化を図ります。</li> </ul>					
平成28年度実績	<p>連携事業として、教員間では授業の参観及び研究協議が行われ、教育課程や特別支援教育などの合同研修会が実施されました。児童生徒間では小学校6年生の部活体験や1日体験入学が中学校で実施され、音楽会や運動会での交流も図られました。</p>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	中学校1年生全体に占める不登校者数の割合(%)	1.67	1.89	1.69		
	小中9年間を見通した年間指導計画を作成・実施した学校の割合(%)	—	—	—		
現状・課題	<p>中学校1年生の不登校数は、増加の割合は抑えられており、小・中連携が中一ギャップの解消につながっていると考えられます。また、合同研修会、授業公開・研究協議、連絡会・情報交換会などが成果としてあげられ、各校が研修を通して教職員の指導力向上を図り、小・中の系統を意図した学習指導、生徒指導に取り組んでおり、おおむね順調に進捗しています。今後は小・中連携教育から小・中一貫教育へと連携を進めることが課題となっています。</p>					
改善の方策等	<p>今後、小・中学校で育てたい児童・生徒像を共有し、小中9年間を見通した年間指導計画を作成し、実施するなど、小・中一貫教育を意図した連携事業の改善・深化に努めます。また、平成29年度に小中一貫教育推進モデル校に小学校1校、中学校1校を指定し教育課程や目指す児童生徒像の研究を進めます。</p>					

細 施 策	②中学校・市立川越高等学校連携の推進				担当課	担当課評価
					学校管理課	B
施策の内容	<p>中学校と市立高等学校が一層連携し、双方の円滑な交流や相互理解、授業改善や教員の指導力向上に向けた取組を推進します。</p>					
平成28年度実績	<p>市立川越高等学校と近隣3中学校の平成28年度研究委嘱校間では、授業や体育祭などの学校行事の参観、高校教員による中学校での出前授業や進路に関する説明、中学生による上級学校訪問や生徒相互の部活動交流等を実施しました。中学生による高校の体験授業では、学年全体で参加することも行われ、連携が深められました。</p>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	教員・保護者間の交流活動件数(件)	19	28	25		
	生徒間の交流件数(件)	11	12	12		
現状・課題	<p>出前授業や体験授業、部活動の相互交流や合同練習などが積極的に取り組まれ、教員の意識も高くなり、おおむね順調に進捗しています。今後、より多くの市内各中学校との連携を拡大することが課題となっています。</p>					
改善の方策等	<p>平成29年度は、より多くの中学校との連携が実施できるようブロック内の連携校の見直しを行いました。系統的な学習指導・生徒指導・進路指導に生かす校種間連携を目指し、さまざまな取組を実施してまいります。</p>					

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 1 確かな学力と自立する力の育成  
 【施策の柱】 (2)校種間連携の推進

細 施 策	③幼稚園・保育園・小学校連携の推進							担当課	担当課評価
								教育指導課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小連絡懇談会を実施し、幼稚園、保育園、小学校の連携の在り方について話し合い、幼・保・小の円滑な接続を図ります。</li> <li>・教育委員会主催の研修会に幼稚園、保育園からの参加者を募り、共通のテーマで学び合い、それぞれの役割についての理解を深めます。</li> </ul>								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究テーマを「子どもの発達と学びの連続性をはぐくむ幼保小の連携」とし、「他者との関係を育む活動」に視点をあてて実践事例集を作成しました。</li> <li>・幼保小連絡懇談会を6会場で実施し、授業公開や実践事例集に基づいた協議を行いました。</li> <li>・各会場での記録を冊子にまとめ、関係者に配布するとともに、公民館等に閲覧用として配布しました。</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 各種連携会議の参加者数				【説明】 市内の幼稚園、保育園、小学校(中学校)から市教委主催の懇談会・研修会等に参加した教職員の延べ人数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実 績 値					目標値 (H32)	
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	人	303	307	324					320
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小連絡懇談会に112の園・校が参加し、年間を通してテーマに基づき連携を推進することができ、順調に進捗しています。</li> <li>・研究の視点を他者との関係を育む活動に絞ることで、幼保小の課題解決に向けた情報共有が可能となり、順調に進捗しています。</li> </ul>								
改善の方策等	幼保小連絡懇談会の成果を各幼稚園・保育園・小学校へ周知し、今後も参加園・参加者の拡充を図り、幼保小の円滑な連携を図ります。								

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 1 確かな学力と自立する力の育成

施策の柱	(2)校種間連携の推進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①小学校・中学校連携の推進	学校管理課	B	B	B
	②中学校・市立川越高等学校連携の推進	学校管理課	B		
	③幼稚園・保育園・小学校連携の推進	教育指導課	A		
学識経験者等意見	小学校から中学校に上がる時の進路指導が、小学校に上がる時と同じようにきめ細かく行われるように、校種間連携を進めていただきたい。				

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 1 確かな学力と自立する力の育成  
 【施策の柱】 (3)グローバル化に対応する教育の推進

細 施 策	①英語指導助手（AET）の配置事業の充実							担当課	担当課評価
								教育センター	B
施策の内容	英語によるコミュニケーション能力の育成を図り、「聞くこと」「話すこと」等の技能を伸ばすため、小・中・市立高等学校及び特別支援学校に配置されている英語指導助手(AET)の充実を図ります。								
平成28年度実績	直接雇用のAETを1名増員し、直接雇用AET5人、川越市直接雇用AET(KET)2人、派遣契約17人、合計24人のAETを配置しました。 (訪問実績) 英語指導助手(AET)24人 小学校 1,036日 中学校 2,234日 市立川越高等学校 151日 合計 3,152日								
指標及び説明	【指標】 AET配置実績				【説明】 英語指導助手(AET)の配置人数				
	単位	現在値 (H26)	実 績 値					目標値 (H32)	
指標の推移	人	22	H27 23	H28 24	H29	H30	H31	H32	32
現状・課題	直接雇用のAETを1名増員し、教員とAETの共同授業において、AETを効果的に活用できる配置が可能となり、おおむね順調に進捗しています。								
改善の方策等	直接雇用の質の高いAETの人数を段階的に増やしていくとともに、小学校中学年における外国語活動、小学校高学年における英語科導入に向け、増員したAETは小学校に積極的にAETを配置していくように努めます。								

細 施 策	②小学校外国語活動の推進							担当課	担当課評価
								教育センター	A
施策の内容	平成32(2020)年の学習指導要領の改訂において、外国語活動が小学校中学年から導入されることを視野に入れ、児童の外国語活動におけるコミュニケーション能力を伸ばす等の教員の指導力向上を図ります。								
平成28年度実績	次期学習指導要領における小学校外国語の教科化を鑑み、増員したAETを重点的に小学校に配置し、訪問回数を増加しました。また、配置されたAETと担任教師が、効果的に授業を展開し児童が英語に親しめるよう、市内全小学校の教員参加とする小学校外国語指導力向上研修会、市内全小・中・高等学校の教員全参加とする授業研究協議会等の研修会を開催し、教職員の指導力向上を図り、小学校外国語活動の充実・推進をしました。								
成果実績	項目名(単位)		H26	H27	H28				
	AETの共同授業による1日平均授業時数(時間)		4.63	4.57	4.63				
	小学校5・6年1学級当たりのAETの年間訪問回数(日)		5.56	5.48	6.20				
現状・課題	AETの共同授業による1日平均授業時数(時間)が、増加し、児童がAETを通して外国文化や英語に触れる機会が増えており、順調に進捗しています。								
改善の方策等	平成29年度は、AETは増員されず、現人数のままの配置が予想される中、担任とAETの効果的な授業が展開できるよう、さらに研修会を充実させ、教職員の指導力・英語力の向上を図ります。								

- 【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 1 確かな学力と自立する力の育成  
 【施策の柱】 (3)グローバル化に対応する教育の推進

細 施 策	③小学校・中学校英語教育の充実							担当課	担当課評価
								教育センター	B
施策の内容	平成32(2020)年の学習指導要領の改訂において、小学校高学年の英語の教科化や中・高等学校の英語教育の高度化が図られることを視野に入れ、児童生徒の英語力の強化を目指し、教員の指導力向上や外部人材の活用促進を図ります。								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校においては、小学校外国語活動指導者研修会等を実施するとともに、小学校外国語活動アクティビティー集を作成し、具体的な指導方法や模擬授業を実施する研修を行い、教員の指導力の向上を図りました。</li> <li>・中学校においては、英語科指導力向上研修会等を実施するとともに、英語指導助手活用実践事例集を作成し、教員の英語力の向上を図るとともに、生徒のコミュニケーション能力の基礎の育成を図りました。</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 授業における英語担当教員の英語使用状況				【説明】 授業を英語で行う英語担当教員の割合				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実 績 値					目標値 (H32)	
	%	51.6	H27 20.0	H28 71.0	H29	H30	H31	H32	85.0
現状・課題	教員の指導力向上に向け、授業における英語担当教員の英語の使用状況はおおむね順調に進捗しています。								
改善の方策等	小学校高学年の英語の教科化や中学校の英語教育の高度化が図られることを視野に入れ、英語の研修を増やすことにより、今後、特に小学校教員の指導力の向上を図る研修の充実に努めます。								

細 施 策	④国際理解教育の推進				担当課	担当課評価
					教育センター	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍の児童生徒のうち、特に日本語指導が必要とされる児童生徒に対して、日本語指導ボランティアの派遣を推進していきます。</li> <li>・グローバル化に対応した教育環境づくりを推進し、国際理解教育の推進を図ります。</li> </ul>					
平成28年度実績	教職員の英語力向上を図るとともに、グローバル化に対応できるよう外国の文化に対する理解を深め、児童・生徒の指導に生かすことを目的として「AETと楽しむ英会話研修会」を実施しました。					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	AETと楽しむ英会話研修会 参加者数(人)	10	12	13		
現状・課題	<p>小学校学習指導要領改訂を受け、平成32年度より、中学年に「外国語活動」、高学年に「外国語」が導入されることとなり、これまで以上に国際理解教育を推進することが必要になってきています。</p> <p>今後さらに、本研修の需要の高まりが予想されます。教職員の英語力を向上させ、児童・生徒の発達段階や実態に即して国際理解教育を進められるよう、参加者が希望に応じてコースを選択できる等の工夫をし、さらに充実させていく必要があります。</p>					
改善の方策等	平成29年度より、名称を改め、さらに参加対象者を「英会話初級研修会」「英会話中・上級研修会」に分けて実施します。					

- 【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 1 確かな学力と自立する力の育成

施策の柱		(3) グローバル化に対応する教育の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①英語指導助手(AET)の配置事業の充実	教育センター	B	A	A
	②小学校外国語活動の推進	教育センター	A		
	③小学校・中学校英語教育の充実	教育センター	B		
	④国際理解教育の推進	教育センター	A		
学識経験者等 意見	AETの配置について、現在の配置が適切かどうか検討し、外国語の教科としての正式な導入までに課題を見つけながら、拡充を図っていただきたい。				

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 1 確かな学力と自立する力の育成  
 【施策の柱】 (4)進路指導・キャリア教育の充実

細 施 策	①地域・関係機関と連携した社会体験活動の充実			担当課	担当課評価
				教育指導課	A
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の発達段階に応じた進路指導・キャリア教育の充実に努めます。</li> <li>・川越市中学生社会体験事業を実施し、地域の事業所等での体験活動を通して勤労観や職業観を養う機会の充実に努めます。</li> </ul>				
平 成 2 8 年 度 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越市中学生社会体験事業を、市立全中学校で実施し、事後のアンケート調査を行いました。その結果を、事業実施以降の指導に活用しました。</li> <li>・「進路指導・キャリア教育研修会」を実施しました。「キャリア教育の現状と課題について」をテーマとし、前半の講義に加え、後半は参加者によるグループ協議等を行いました。</li> <li>・関係団体等との連携を図り、本事業を円滑に運営することができました。</li> </ul>				
成 果 実 績	項目名(単位)	H26	H27	H28	
	社会体験事業実施後のアンケートで「自分の将来の夢や希望について考える機会となった」と回答した生徒の割合(%)	89.20%	89.20%	93.58%	
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事後のアンケート調査によると、「働くことの大切さや意味を考える機会となりましたか」「仕事をするために、周りの人との協力が大切なことが理解できましたか」「あいさつや時間など社会のきまりを守ることの大切さを理解できましたか」「働くことの厳しさ、大変さを知ることができましたか」の項目で、98%以上の生徒が肯定的な回答を示し、本事業は順調に進捗しています。</li> <li>・事業の実施時期、生徒の希望にあった事業所の確保、事業所までの通勤方法が課題として挙げられています。</li> </ul>				
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会体験活動の事後指導を確実にいき、体験を今後の生活に生かす視点を取り入れるようにしていきます。</li> <li>・校区内の事業所等の開拓、確保に努めます。</li> </ul>				

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 1 確かな学力と自立する力の育成

施 策 の 柱		(4)進路指導・キャリア教育の充実			
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施 策 評 価	①地域・関係機関と連携した社会体験活動の充実	教育指導課	A	A	A
学 識 経 験 者 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越市中学生社会体験事業は、子どもたちが社会の中で一般の人たちと接する窓口になる大切な事業だと思っているので、各学校の受け入れ先の確保について、教育委員会としても後押しをしていただきたい。</li> <li>・受け入れ先のインフルエンザの流行等により実施できなくなった場合に、代替の場所で社会体験活動ができるとよいと考える。</li> </ul>				

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 1 確かな学力と自立する力の育成  
 【施策の柱】 (5)情報教育の推進

細 施 策	① ICT教育の推進				担当課	担当課評価
					教育センター	B
施策の内容	児童生徒がコンピュータやインターネット等のICTを活用し、情報活用能力を身に付け、主体的な学びができるよう推進します。					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校・中学校の授業におけるICT(情報通信技術)活用回数は、平成27年度は1学級あたり小学校で67.8回、中学校で84.0回に対し、平成28年度は小学校で70.1回、中学校で90.8回と増加傾向にあります。</li> <li>・デジタル教科書の1校あたりの活用回数は、平成27年度は383.4回、平成28年度は392.6回となり、増加傾向にあります。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	ICTを活用して学習指導ができる教員(%)	76.9	78.5	78.0		
	児童生徒にICT活用を指導できる教員(%)	74.4	73.9	72.1		
現状・課題	デジタル教科書の活用を含め、ICTの活用は増加しています。ICTを活用して学習指導ができる教員や、児童生徒にICT活用を指導できる教員の割合が停滞しています。ICT機器の活用の実践を周知したり、授業公開を行うなどして具体的な実践例を示し、活用をはたらきかけていきます。					
改善の方策等	教職員一人一人の能力や適性に合った研修会を引き続き計画的に実施することによって、ICT教育の効果や必要感を周知し、授業でのICT活用を推進していきます。					

細 施 策	②情報モラル教育の推進							担当課	担当課評価
								教育センター	B
施策の内容	児童生徒の情報の安全管理や情報モラル等の育成を一層推進するために、管理職や情報化推進リーダー等を対象にした情報モラル教育の研修の充実を図ります。								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラル教育に関しては、小学校では主に総合的な学習の時間で、中学校では、技術家庭科(情報分野)の年間指導計画に全校位置付け実施されています。</li> <li>・平成28年度小・中学校の情報モラルに関する授業の実施回数は、1校あたり30.0回となっています。</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 情報モラルに関する指導ができる教員の割合				【説明】 情報モラルに関する指導ができる教員の割合(文部科学省及び川越市独自調査)				
指標の推移	単位	現在値(H26)	実績値						目標値(H32)
	%	90.0	H27	H28	H29	H30	H31	H32	100.0
現状・課題	情報モラルに関する指導ができる教員の割合が減少傾向にあります。情報の技術革新に伴い、SNS等のコミュニケーションツールのトラブルの回避や、著作権、肖像権等の指導力の向上に努めます。								
改善の方策等	情報モラル教育に関する研修の内容を充実させ、教職員の情報モラルに対する指導力の向上に努めます。また、保護者を対象とした研修会においても情報モラルについて扱い、情報の安全管理や情報モラルについて一層啓発してまいります。								

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 1 確かな学力と自立する力の育成  
 【施策の柱】 (5)情報教育の推進

細 施 策	③コンピュータ施設・設備の充実と活用							担当課	担当課評価
								教育センター	A
施 策 の 内 容	情報化の進展に対応する児童生徒を育成するためにコンピュータ室等の教育用パソコンを計画的に更新するとともに、校内LANを計画的に整備し、コンピュータ施設・設備の充実と活用を図ります。								
平 成 2 8 年 度 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度は小学校2校・中学校12校の校内LAN環境を整備し、児童生徒用のコンピュータ(タブレット)を680台導入しました。また、校務用コンピュータを小学校では370台、中学校においては260台の導入・入れ替えをしました。</li> <li>学校に設置されている教育用コンピュータの活用を図るため、教職員に対してデジタル教科書や電子黒板の活用に関する研修会を実施し、教職員の指導力の向上を図りました。</li> </ul>								
指 標 及 び 説 明	【指標】 授業におけるICT(情報通信技術)活用 授業回数				【説明】 児童生徒が授業の中でICTを活用して学ぶ授業の年 間実施回数				
	指 標 の 推 移	単 位	現 在 値 (H26)	実 績 値				目 標 値 (H32)	
	回	51.1	H27 74.8	H28 84.4	H29	H30	H31	H32	75.0
現 状 ・ 課 題	平成26年度からICTを活用した授業を行う回数が増加傾向にあります。タブレット型コンピュータ等のICT機器の導入を計画的に行っています。新しい機器を効果的に使用するために、タブレット型コンピュータ等のICTを活用した授業づくりに関する研修会を進めていきます。								
改 善 の 方 策 等	平成29年度は、校内LAN敷設工事を中学校10校で実施し、合わせて500台のコンピュータ(タブレット含む)を導入予定です。平成29年度から平成31年度まで、計画的に全小・中学校に校内LAN敷設工事とともにコンピュータの導入も実施し、設備の充実を図っていきます。								

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 1 確かな学力と自立する力の育成

施 策 の 柱	(5) 情報教育の推進				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①ICT教育の推進	教育センター	B	B	
	②情報モラル教育の推進	教育センター	B		
③コンピュータ施設・設備の充実と活用	教育センター	A			
学 識 経 験 者 意 見 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTについては、次々に技術が更新されていくので、ICTに精通した担当者を置くなど、常に新しい技術等についていけるような仕組みが必要だと考える。</li> <li>ICT教育や情報モラル教育については、携帯電話会社などの外部の団体が実施する教室等も活用しながら進めていただきたい。</li> </ul>				B

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 1 確かな学力と自立する力の育成  
 【施策の柱】 (6)特別支援教育の充実

細 施 策	①就学支援委員会の充実							担当課	担当課評価
								教育センター	A
施策の内容	小・中学校への就学予定者及び小・中学校に在籍する児童生徒のうち、特別な支援を必要とする子どもに対して、一人ひとりのニーズに応じた学びの場と学習内容の判断を行い、就学の適正化を図る、学識経験者、専門医、学校教育機関の代表、関係行政機関の職員で構成する就学支援委員会の充実を図ります。								
平成28年度実績	就学相談が必要な幼児、児童生徒に対して、本人の観察や保護者との面談、諸検査の実施、学校・就学前施設からの聞き取り等を通して、児童生徒一人ひとりに合った学びの場の判断を行い、具体的な支援方法等について保護者に情報提供を行いました。就学支援委員会の判断と異なる就学先を希望する保護者に対しては、必要とする十分な情報提供を行い、適切な就学先を決定できるように努めました。								
指標及び説明	【指標】 就学相談での判断と実際の就学状況一致率				【説明】 就学支援委員会の判断結果と保護者、本人が決めた就学場所が一致した割合				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
	%	75.0	H27 79.2	H28 86.6	H29	H30	H31	H32	80.0
現状・課題	定期の就学相談のほか、相談の内容や重ねて相談が必要な状況に応じて、臨時的就学相談を実施しました。児童生徒について多くの情報をもとにした、適切な就学先の判断や継続的な相談が進められており、順調に進捗しています。								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学支援委員会の判断と異なる就学先を希望する保護者に対し、必要とする十分な情報提供を今後も行っていきます。</li> <li>・児童生徒の様子を適切に把握できるよう、就学前施設、小・中学校とより一層の連携を図ります。</li> </ul>								

細 施 策	②一人ひとりのニーズに応じた指導や支援の充実							担当課	担当課評価
								教育センター	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会を充実させるとともに、自立支援サポーターの活用促進や、通常の学級における支援の推進に努めます。</li> <li>・通常の学級に在籍する軽度言語・聴覚障害や発達障害等のある子どもに対して、障害の程度に応じた支援の充実を図ります。</li> <li>・小・中学校に設置している特別支援学級の子ども一人ひとりの障害の特性等に配慮した指導・支援の充実を努めます。</li> </ul>								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各小・中学校の通常の学級に在籍する児童生徒の中で、学習障害(LD)・注意欠如多動性障害(ADHD)・自閉症スペクトラム障害等の発達障害やその傾向にある個別の支援を必要としている児童生徒数は、年々増加しており、各学校からの自立支援サポーターの申請数も増えています。</li> <li>・申請の出された学校には、各学校の実態に応じて週1～2日の範囲で、すべて自立支援サポーターを配置しました。</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 特別支援教育支援員一人あたりの児童生徒数				【説明】 特別支援教育の臨時指導員と自立支援サポーター一人あたりの児童生徒の割合				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
	人	10.5	H27 13.9	H28 10.3	H29	H30	H31	H32	6.0
現状・課題	各小・中学校から、個別の支援を必要とする多くの児童生徒が報告される中、自立支援サポーターが該当児童生徒に対し、別室で個別指導を行ったり、クラスの中に入って活動の助言、支援を行いました。対象児童生徒との信頼関係を築きながら、個別の支援を進めています。								
改善の方策等	自立支援サポーター一人ひとりが、児童生徒の多様な状況に対応できるようにするため、支援の仕方に関する研修の充実を図ります。								

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 1 確かな学力と自立する力の育成  
 【施策の柱】 (6)特別支援教育の充実

細 施 策	③特別支援教育の理解・啓発の推進							担当課	担当課評価
								教育センター	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある児童生徒理解のためのパンフレットを作成し、特別支援教育への理解と啓発の推進を図ります。</li> <li>・心のバリアフリーを育む交流及び共同学習等の充実を図り、ノーマライゼーションの理念に基づく教育を推進します。</li> </ul>								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「就学相談セミナー」「発達障害セミナー」の開催により、セミナーに参加した保護者が、就学相談や教育相談を希望する等、児童生徒のよりよい成長のための支援の在り方を共に考えることができました。</li> <li>・特別支援学級の授業について関心のある保護者は多く、一人で数校の公開授業に参加する方がいる等、毎年約300人が申し込んでいます。</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 特別支援学級授業公開参加者数				【説明】 特別支援学級の公開授業に参加する保護者の人数				
指標の推移	単位	現在値	実績値					目標値	
		(H26)	H27	H28	H29	H30	H31	H32	(H32)
	人	299	292	284					320
現状・課題	<p>保護者向けセミナーや特別支援学級の授業公開日を設けることで、発達障害や特別支援教育、子供の就学について具体的に知り、理解してもらうことができました。また、授業公開を行うことで、教員が積極的に研修を重ね、指導の工夫を図る等、資質の向上につながっています。</p>								
改善の方策等	<p>セミナーやリーフレットをさらに活用し、障害のある児童生徒の保護者だけでなく、一般市民にも理解を得られるような広報活動を積極的に行います。また、セミナーの内容について、参加する方のニーズに合わせた内容を工夫し、特別支援教育の理解を図ります。</p>								

細 施 策	④市立特別支援学校のセンター的機能の充実							担当課	担当課評価
								教育センター・特別支援学校	B
施策の内容	<p>市立特別支援学校が、保護者に対する相談活動や小・中学校等へのセンター的な役割を担えるよう支援体制の整備を推進します。</p>								
平成28年度実績	<p>市立特別支援学校のセンター的機能に基づき27件の相談、研修等に対応しました。          (内訳)          ・保護者との面接相談11件          ・特別な配慮が必要な児童生徒についての小・中学校への指導援助9件          ・小・中学校における配慮が必要な児童生徒への支援に関する研修会の実施5件          ・その他(介護等の体験事前指導、異校種体験教員受け入れ、巡回支援等)2件</p>								
成果実績	項目名(単位)	H26		H27		H28			
	特別支援学校のセンター的機能による対応数(件)	保護者	5	保護者	3	保護者	11		
		学校	15	学校	4	学校	9		
		研修	2	研修	3	研修	5		
		その他	11	その他	4	その他	2		
	合計	33	合計	14	合計	27			
現状・課題	<p>特別支援学校としての専門性を生かし、地域の特別支援教育の推進を支援するセンター的機能を発揮し、保護者、小・中学校への指導援助や研修会を実施しています。平成27年度から、市の巡回相談を実施しており、センター的機能の活用について調整を図っています。</p>								
改善の方策等	<p>特別支援教育の理解・啓発をより一層推進してまいります。</p>								

- 【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 1 確かな学力と自立する力の育成

施策の柱		(6) 特別支援教育の充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①就学支援委員会の充実	教育センター	A	B	B
	②一人ひとりのニーズに応じた指導や支援の充実	教育センター	B		
	③特別支援教育の理解・啓発の推進	教育センター	B		
	④市立特別支援学校のセンター的機能の充実	教育センター 特別支援学校	B		
学識経験者等 意見	<p>・特別支援教育の理解・啓発の推進については、大人向けのものだけではなく、子ども向けのものについても、ある程度小さいうちから積極的に行っていけば、社会に出てからも積極的に関わることができるようになるのではないかと考える。</p> <p>・特別支援教育については、特別支援学校が各学校で特別支援学級を新たに担任するような人たちを支援するなど、人材を育成する継続的なシステムを作り、特別支援教育を担う教員の養成について充実を図っていただきたい。</p>				B

- 【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 2 豊かな心と健やかな体の育成  
 【施策の柱】 (1)豊かな心を育む教育の推進

細 施 策	①道徳教育の充実			担当課	担当課評価
				教育指導課	B
施策の内容	豊かな心を育む道徳教育の一層の充実と道徳的実践力の向上を、学校の教育活動全体で推進します。				
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育推進教師研修会を年2回実施しました。</li> <li>・学校訪問で公開授業を実施し、授業や分科会の協議を通して指導力の向上を図りました。</li> <li>・教科化に向けて、教師の指導力向上を目指した道徳教育の冊子「川越市の道徳教育」を作成しました。</li> </ul>				
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28	
	道徳の時間を楽しみ、あるいはためになると思う児童がクラスのほぼ全員である小学校数(全32校)	—	19	13	
	道徳の時間を楽しみ、あるいはためになると思う生徒がクラスのほぼ全員である中学校数(全22校)	—	1	2	
現状・課題	道徳教育推進教師研修会や学校指導訪問等を通して、指導力の向上を図ることができ、おおむね順調に進捗しています。				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育推進教師を中心とした校内組織を整備するとともに、家庭・地域との連携した取組や「私たちの道徳」や埼玉県資料を積極的に活用し、道徳教育の充実を推進します。</li> <li>・作成した「川越市の道徳教育」を活用し、さらなる道徳教育の充実を図ります。</li> </ul>				

細 施 策	②規律ある態度の育成の推進						担当課	担当課評価
							教育指導課	B
施策の内容	学校が家庭や地域と連携を密にし、児童生徒の基本的な生活習慣や学習習慣の定着を図ります。							
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各小・中学校における校種間の連携を通して、9年間を見通した生活習慣、学習習慣の定着に向けた取組を推進しています。</li> <li>・各学校において、保護者や地域と連携した「あいさつ運動」等の取組を推進しています。</li> </ul>							
指標及び説明	【指標】 「規律ある態度」達成率80%以上の項目数 ①小学校:各学年12項目×6学年 ②中学校:各学年12項目×3学年			【説明】 埼玉県学力・学習状況調査質問紙において達成率が80%以上であった項目の数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)		実績値				目標値 (H32)
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	① 項目	67/72	69/72	67/72				
	② 項目	33/36	34/36	33/36				36/36
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状としては、「時刻を守る」「生活の決まりを守る」等の規律面に関しておおむね90%以上の達成率を示しており、おおむね順調に進捗しています。</li> <li>・小学校第4学年から中学校第3学年において、「話を聞き発表する」の項目が年を重ねるごとに達成率が下がる傾向にあるため、学級活動及び各教科におけるコミュニケーション能力の育成に取り組むことが課題です。</li> </ul>							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校指導訪問等の機会をとらえ、各学校の実態に即した取組を支援してまいります。</li> <li>・学力向上研究委員会において、特別活動部会を計画的に行い、コミュニケーション能力の育成を目指した具体策等を検討してまいります。</li> </ul>							

- 【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 2 豊かな心と健やかな体の育成  
 【施策の柱】 (1)豊かな心を育む教育の推進

細 施 策	③読書活動の充実							担当課	担当課評価
								教育指導課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生は「小江戸読書マラソン」の取組、中学生は「小江戸中学生読書手帳」の活用を通して、児童生徒の読書活動を推進します。</li> <li>小学校入学時に読書活動啓発リーフレットを配布し、家庭における読書活動の啓発に努めます。</li> <li>司書教諭・図書整理員の配置により、学校図書館経営を充実させ、読書活動の推進を図ります。</li> </ul>								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生には「小江戸読書マラソン」を配布し、意欲的な読書活動が進められるようにしました。</li> <li>中学生には「小江戸中学生読書手帳」を配布し、生徒の興味・関心を踏まえ、取り上げる本を見直すなど内容を改善しました。</li> <li>読書活動啓発リーフレットについて、内容を見直し、改善を図りました。</li> </ul>								
指標及び説明	<b>【指標】</b> ①児童一人あたりの読書冊数 ②生徒一人あたりの年間読書冊数(読んだ本の感想等を記入した冊数)				<b>【説明】</b> ①川越市小江戸読書マラソン実施状況調査における実施期間中の平均読書冊数 ②川越市小江戸中学生読書手帳活用状況調査において読書手帳に記入された平均読書冊数				
指標の推移	単位	現在値(H26)	実績値					目標値(H32)	
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	① 冊	54.9	57.9	60.7				56.0	
② 冊	12.1	12.1	11.5				13.0		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校では読書マラソンカードの積極的な活用により、平均読書冊数は向上しており、順調に進捗しています。</li> <li>中学校では読書冊数が減少したので、読書手帳について全校読書や授業での活用を継続して、読書冊数増加に努める必要があります。</li> </ul>								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書マラソンカードを活用した読書啓発の実践を進めることで、今後の読書冊数の増加が期待できます。</li> <li>読書手帳に掲載されている作品について授業を通じて更に活用し、今後の読書冊数の増加に努めます。</li> </ul>								

細 施 策	④市立図書館司書等による読み聞かせの推進							担当課	担当課評価
								中央図書館	B
施策の内容	図書や図書館への興味・関心を持たせるため、市立図書館職員の学校訪問等を通じ、読書活動の推進に努めます。								
平成28年度実績	全市立小学校3年生の各学級を訪問・招待し、本の紹介を行いました。また、市立小学校5校の1年生の各学級を訪問・招待し、本の紹介を行いました。								
指標及び説明	<b>【指標】</b> 図書館職員による学校訪問等の学級数				<b>【説明】</b> 学校訪問等により本などの紹介を実施した市内小・中学校の学級数				
指標の推移	単位	現在値(H26)	実績値					目標値(H32)	
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	学級	96	96	103				110	
現状・課題	市立図書館司書等による全市立小学校3年生への学級訪問等の実績は順調です。他学年への学級訪問等の数が少ないことが課題です。								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き全市立小学校3年生の各学級を訪問・招待し、本の紹介を行います。</li> <li>文字の習得により児童自身の読書活動が活発になる小学校1年生へ本の紹介を行います。</li> <li>市内小中学校の教員に事業のPRをします。</li> </ul>								

- 【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 2 豊かな心と健やかな体の育成  
 【施策の柱】 (1)豊かな心を育む教育の推進

細 施 策	⑤市立図書館から学校への図書貸出の推進							担当課	担当課評価
								中央図書館	A
施 策 の 内 容	児童生徒の調べ学習等の要望に応えるため、市立図書館から学校への図書貸出を推進します。								
平 成 2 8 年 度 実 績	児童・生徒たちへの「テーマ」に沿った図書を市内小学校に8,316冊、中学校に385冊貸し出しました。								
指 標 及 び 説 明	【指標】 学校への団体貸出数				【説明】 市内小中高校の各学級に団体貸出(100冊を上限に1か月間貸し出す)により貸し出した冊数				
	指 標 の 推 移	単 位	現 在 値 (H26)	実 績 値				目 標 値 (H32)	
	冊	7,833	H27 8,494	H28 8,701	H29	H30	H31	H32	11,000
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度実績は、8,701冊で平成28年度想定目標値に対して約98%の達成状況となり、順調に進捗しています。</li> <li>高校からの団体貸出利用について、課題があります。</li> </ul>								
改 善 の 方 策 等	引き続き市内小中学校の教員に事業のPRをします。また、高校の教員にも事業のPRをします。								

- 【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 2 豊かな心と健やかな体の育成

施 策 の 柱	(1)豊かな心を育む教育の推進				
施 策 評 価	細 施 策	担 当 課	施 策 評 価		総 合 評 価
			細 施 策	施 策 の 柱	
	①道徳教育の充実	教育指導課	B	B	
	②規律ある態度の育成の推進	教育指導課	B		
	③読書活動の充実	教育指導課	A		
	④市立図書館司書等による読み聞かせの推進	中央図書館	B		
⑤市立図書館から学校への図書貸出の推進	中央図書館	A			
学 識 経 験 者 等 意 見	「市立図書館から学校への図書貸出の推進」については、図書館と国語の担当の教員とがコミュニケーションをとりながら、子どもたちの本に対する親しみを増やしていくよう、図書貸出を推進していただきたい。				

- 【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 2 豊かな心と健やかな体の育成  
 【施策の柱】 (2)生徒指導の充実

細 施 策	①いじめ防止対策の推進							担当課	担当課評価
								教育指導課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市立小・中学校におけるいじめ問題の実態を把握し、いじめの根絶に向けた取組を推進します。</li> <li>・いじめ問題対策委員会の意見を踏まえ、具体的な取組を推進します。</li> <li>・児童相談所等の関係機関と連携し、情報交換や対応策を検討します。</li> </ul>								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ未然防止対策では、各学校の相談体制、校内いじめ対策委員会、アンケート実施、児童生徒の活動などの進捗状況を定期的に確認して取り組みました。また、いじめ・不登校対策検討委員会では、リーフレット「児童生徒の手で築く『いじめをしない学校』を目指して」を作成し、市内全教員へ配布しました。</li> <li>・年3回いじめ問題対策委員会を開催し、いじめ防止に向けた各施策、取組等についての意見に基づいていじめ防止対策を推進しました。</li> <li>・生徒指導上の支援を必要とする児童生徒について、学校及び児童相談所やこども家庭課等とのケース会議等で連携し情報の共有を図りました。</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 いじめは、どんな理由があってもいけないと考える児童生徒の割合				【説明】 全国学力・学習状況調査質問紙において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と回答した児童生徒の割合(対象:小学校第6学年・中学校第3学年)				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
	%	96.1	H27 95.7	H28 95.8	H29	H30	H31	H32	100.0
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止対策の推進のため、施策や取組を含む「川越市いじめの防止等のための基本的な方針」についてPDCAサイクルによる見直しを行いました。さらに、市立全小・中学校で「学校いじめ防止基本方針」の見直しを進め、いじめ問題への早期対応と、いじめの未然防止に向けた取組の充実を図りました。</li> <li>・いじめ未然防止に向け、各学校と関係機関との連携をより円滑にしていけることが大切です。</li> </ul>								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ問題の早期発見に向け、定期的に児童生徒アンケート及び保護者アンケートを実施し、いじめの早期発見・早期対応に万全を期してまいります。</li> <li>・いじめは、どんな理由があってもいけないと考える児童生徒の割合を高めるため、川越市児童生徒連絡協議会と連携し、各学校の児童生徒が主体となったいじめ撲滅に向けた取組を推進してまいります。</li> <li>・児童生徒への具体的な支援策を検討するための関係機関との連携について、体制の強化を図ってまいります。</li> </ul>								

細 施 策	②不登校対策の推進							担当課	担当課評価
								教育センター	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ・不登校対策検討委員会において、協議内容や成果物をもとに不登校問題の防止や対応に向け、具体的な取組を推進します。</li> <li>・臨床心理士やスクールソーシャルワーカー等の専門家を活用した相談体制の充実を図るとともに、不登校児童生徒や保護者を支援し、不登校児童生徒の減少を目指します。</li> </ul>								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回から2週間に1回の割合で県から配置されているスクールカウンセラーが、生徒やその保護者への面接、教職員への助言など、併せて7,087回の相談を行いました。</li> <li>・スクールソーシャルワーカーを活用し、福祉関連機関との連携を図っています。</li> <li>・教育センター分室配置の臨床心理士が学校訪問やリバーラでの面接相談のスーパーバイズを行い、支援の充実を図っています。</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 スクールカウンセラーが関わりを持ち、解決した割合				【説明】 中学校に配置されているスクールカウンセラーが関わりを持ち、解決した割合				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
	%	77.5	H27 77.5	H28 79.0	H29	H30	H31	H32	85.0
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーが相談に応じ、不登校が解決・改善した割合は79%となっています。また、スクールソーシャルワーカーが、福祉関連機関との連携を図り、課題解決を図っています。不登校の要因が複雑化し、専門家がより連携を深め、支援の充実に努めることが必要です。</li> </ul>								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用を一層図り、学校、家庭、および福祉関連機関との連携を深め、支援の充実を図ります。</li> </ul>								

- 【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 2 豊かな心と健やかな体の育成  
 【施策の柱】 (2)生徒指導の充実

細 施 策	③教育相談の充実							担当課	担当課評価
								教育センター	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内全中学校に配置している、さわやか相談員の活用を図り、不安や悩みを持つ児童生徒が相談しやすい教育相談体制を推進します。</li> <li>スクールカウンセラーや教育センター分室(リバーラ)の臨床心理士など、専門的知識を有する人材を活用し、児童生徒、保護者に対する教育相談体制の充実を図ります。</li> </ul>								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校に配置のさわやか相談員が、小・中学生や保護者等延べ13,765人の相談に対応しました。</li> <li>週1回から2週間に1回の割合で県から配置されているスクールカウンセラーが、児童生徒やその保護者への面接、教職員への助言など、併せて7,087回の相談を行いました。</li> <li>スクールソーシャルワーカーを活用し、福祉関連機関との連携を図っています。</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】さわやか相談員が関わりを持ち、解決した割合				【説明】中学校に配置されているさわやか相談員が関わりを持ち、解決した割合				
指標の推移	単位	現在値(H26)	実績値					目標値(H32)	
	%	87.3	H27	H28	H29	H30	H31	H32	90.0
現状・課題	さわやか相談員が対応した相談件数が27年度より増加していますが、問題が複雑化しており、解決した割合は82%となっています。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、より専門的な立場からの支援を充実していくことが課題となります。								
改善の方策等	今後は、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用を一層図り、学校、家庭、および福祉関連機関との連携を図るとともに、特に不登校や不登校傾向にある児童生徒、および保護者への支援の充実を図っていきます。								

細 施 策	④いきいき登校サポートプランの推進							担当課	担当課評価
								教育センター	B
施策の内容	市内小・中学校における不登校問題の解消に向けて、大学生による不登校児童生徒支援事業等の「いきいき登校サポートプラン」をさらに推進し、学校、専門家、地域が連携し、一体となった取組を進めます。								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度は、20人のスチューデントサポーターが、延べ244回の活動を行いました。</li> <li>臨床心理士を週1日、年間45日、教育センター分室に配置し、特に配慮を要する難しいケースについてより専門的な対応を行いました。</li> <li>スクールソーシャルワーカーが学校、家庭、福祉関連機関と連携し、54件のケースに対応しました。</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】学生が関わったことによって、何らかの形で学校復帰が図れている児童生徒の割合				【説明】スチューデントサポーターの学生が関わったことで、何らかの形で学校復帰が図れている児童生徒の割合				
指標の推移	単位	現在値(H26)	実績値					目標値(H32)	
	%	78.9	H27	H28	H29	H30	H31	H32	85.0
現状・課題	スチューデントサポーターの小中学校での活動や家庭訪問など、活動回数は240回を越えました。対応したケースの中には、引きこもりなど難しいケースもあり、対象児童生徒の状況に応じた活動を進めました。								
改善の方策等	スチューデントサポーターの配置について、関係の大学と連携し、大学生への事前研修や活動中の学生への指導の充実を一層図るとともに、対応するケースによって、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、さらにリバーラの教育相談との連携を深めていきます。								

- 【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 2 豊かな心と健やかな体の育成

施策の柱		(2) 生徒指導の充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①いじめ防止対策の推進	教育指導課	B	B	B
	②不登校対策の推進	教育センター	B		
	③教育相談の充実	教育センター	B		
	④いきいき登校サポートプランの推進	教育センター	B		
学識経験者等 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止対策の推進については、いじめの早期発見、早期対応ができるよう、法務局など他の行政機関が行っている相談活動等についても活用していただきたい。</li> <li>・いじめ対策を行うのは学校やその関係者だけではなく、地域社会全体で行うことも今後進めていく必要があると考える。</li> <li>・いじめや不登校などの個別の難しい問題については、臨床心理士に学校に来て見てもらい、対応の仕方について教えてもらうなど、子どもたちの理解と先生方の指導力の向上を図っていただきたい。</li> </ul>				B

- 【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 2 豊かな心と健やかな体の育成  
 【施策の柱】 (3)健康の保持増進と安全・体力向上の推進

細 施 策	①学校保健活動の推進				担当課	担当課評価
					教育指導課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・家庭・地域との連携を図りながら、健康診断や学校環境衛生活動等の保健管理の徹底に努めます。</li> <li>・歯・口の健康づくりや食物アレルギー・アナフィラキシー対応、薬物乱用防止教育や性に関する指導等の保健教育を推進します。</li> </ul>					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における定期健康診断を実施しました。</li> <li>・学校環境衛生検査として、飲料水検査、プール水検査、学校環境衛生検査、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物検査、砂場の細菌検査、ダニまたはダニアレルゲン量検査を実施しました。問題があった場合には、指導により改善を図りました。</li> <li>・歯・口の健康づくりや性に関する教育等は、学習指導要領に基づき適切に実施しました。</li> <li>・薬物乱用防止教育研修会を開催するとともに、全校で薬物乱用防止教室を実施し、保護者へも周知を図り、健全な心身の育成に向けた取組を行いました。</li> <li>・養護教諭研修会で食物アレルギー・アナフィラキシー発生時の緊急対応を含めた、食物アレルギーを持つ児童、生徒への取組について各学校の事例発表や情報交換を行い、更なる共通理解を図りました。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	薬物乱用防止教室の実施校数(校)	全校実施 (小32 中22 高1 特1)	全校実施 (小32 中22 高1 特1)	全校実施 (小32 中22 高1 特1)		
	上記のうち、保護者参加の学校数(校)	—	—	24		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定された全ての検査を適切に実施し、問題があった場合は改善を指導し、再検査で状況を確認しています。</li> <li>・全校で児童、生徒の発達段階に応じた薬物乱用防止の指導を実施しています。保護者の参加については、全校で周知を図っていますが、4割強の参加です。</li> </ul>					
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校環境衛生検査を実施し、衛生的で安全な学習環境の把握に努めます。</li> <li>・薬物乱用防止教育を更に充実させ、児童生徒の健全な心身の育成に取り組めます。</li> <li>・食物アレルギー・アナフィラキシーに対して適切な対応がとれるよう更なる定着を図ります。</li> </ul>					

細 施 策	②食育の推進				担当課	担当課評価
					教育指導課・学校給食課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が生涯健康で充実した生活を送るために、食に関する指導の推進に努めます。</li> <li>・効果的に食に関する指導を推進するため、栄養教諭の指導体制の整備を推進するとともに、学校・家庭・地域への啓発、情報提供など、学校給食センターと連携した取組を目指します。</li> </ul>					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科や家庭科、体育科、総合的な学習の時間等において、食に関する指導を全校で実施する中で、食事の重要性や食文化について指導しました。</li> <li>・学校給食センターと学校給食課の栄養士が、全小中学校の2年生を対象に、食品の3つの働きやバランスのとれた食事の大切さ等について、食に関する指導を行いました。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	食に関する指導の実施回数(回)	2,131	2,398	2,526		
	食に関する指導を実施した小学校数(全32校)	32	32	32		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校において食育における年間指導計画を踏まえた指導を行っており、順調に進捗しています。</li> <li>・児童がより理解しやすい授業になるよう、指導媒体を研究し改善を行う等しており、順調に進捗しています。</li> </ul>					
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の早い段階から食の大切さを理解してもらうため、今後も計画的に食に関する指導を実施していきます。</li> </ul>					

- 【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 2 豊かな心と健やかな体の育成  
 【施策の柱】 (3)健康の保持増進と安全・体力向上の推進

細 施 策	③体力向上の推進								担当課	担当課評価
									教育指導課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒体力向上推進委員会により、児童生徒の発達段階に応じた体力向上策を推進します。</li> <li>・近隣大学との連携による「トップアスリートふれあい事業」等の実施を通して、児童生徒の体力向上の推進に取り組みます。</li> </ul>									
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上推進委員会では、小・中連携を図るために小学校に中学校の教諭を招き、運動好きな児童を育成する指導や児童の技能向上を図る指導の工夫・改善に取り組みました。また、アンケート調査で、本市児童生徒の生活習慣の実態を把握しました。</li> <li>・トップアスリートふれあい事業を小学校6校で実施し、1,402名の児童が参加しました。</li> <li>・課題となっていた「ボール投げ」に関しては、小・中学校ともに若干ではありますが、回復傾向にあります。</li> </ul>									
指標及び説明	【指標】 新体力テスト総合評価におけるA～C評価の生徒の割合				【説明】 5段階評価で示される新体力テスト総合評価において上位3段階の評価(A・B・C)である生徒の割合					
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)		
	%	84.9	H27 84.4	H28 84.0	H29	H30	H31	H32	85.5	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新体力テスト総合評価(5段階)の3段階以上の実績値の推移は、低下していますが、課題となっていた「ボール投げ」の記録が向上したため、おおむね順調に進捗しています。</li> <li>・平成28年度の新体力テストの結果から、本市児童生徒の体力課題は、「握力」「立ち幅とび」「50m走」です。</li> </ul>									
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き小中連携した授業での指導の工夫・改善に取り組み、運動好きな児童生徒の育成や技能の向上を図っていきます。</li> <li>・児童生徒の体力向上に向けて、体力向上推進委員会において、今後も効果的な指導方法の研究を推進します。</li> </ul>									

細 施 策	④安全・防災教育の推進				担当課	担当課評価
					教育指導課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒、地域の実態に応じた安全教育を推進します。</li> <li>・児童生徒の安全確保のため通学路安全点検の実施、スクールガード・リーダーの配置等、地域及び関係機関等と連携を図り、安全・安心の取組を推進します。</li> <li>・地震や火災等を想定した避難訓練を各学校の年間行事に位置付け、児童生徒の防災意識を高め、自ら危険を回避する能力の育成を図ります。</li> </ul>					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールガードリーダー養成講習会を実施しました。</li> <li>・各学校からの通学路改善要望をとりまとめ、防犯・交通安全課に提出しました。</li> <li>・青色回転灯パトロールカーによる市内の巡回を36回実施しました。</li> <li>・地震や火災等を想定した避難訓練を各学校で実施しました。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	スクールガード・リーダーの平均年間活動回数(回)	—	—	197		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・32名にスクールガードリーダーを委嘱し、市立全小学校に配置しました。</li> <li>・スクールガードリーダー養成講習会の実施時期と内容を改善し、より多くの方が参加できるようにするとともに、効果的な講習ができるようにしました。</li> <li>・関係課との連携により、通学路の整備が進められ、おおむね順調に進捗しています。</li> </ul>					
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の交通事故の原因は、歩行時の飛び出しや自転車の乗り方による問題が多く、重大な事故につながるよう、交通安全指導を継続的に行います。</li> <li>・学校からの要望書を受け、関係課と連携することで、通学路の危険個所の把握及び改善をより速やかに進めてまいります。</li> </ul>					

- 【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 2 豊かな心と健やかな体の育成

施策の柱		(3) 健康の保持増進と安全・体力向上の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①学校保健活動の推進	教育指導課	A	A	A
	②食育の推進	教育指導課 学校給食課	A		
	③体力向上の推進	教育指導課	B		
	④安全・防災教育の推進	教育指導課	B		
学識経験者等	<p>・薬物乱用防止教室については、普通の人にはあまり知らない内容だと思うので、保護者の参加を図っていただきたい。</p> <p>・食育の推進について、給食センターの栄養士が積極的に学校に来て、色々なかたちで食育、栄養についての指導を行っていることは非常に評価できるので、今後とも充実を図っていただきたい。</p> <p>・トップアスリートふれあい事業は、一流の競技者とふれあうことで子どもたちの意欲が高まるので、実施校数を増やしていただきたい。</p>				A

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 3 質の高い教育を支える教育環境の充実  
 【施策の柱】 (1)教職員の資質向上

細 施 策	①経験・職能別研修の充実 (平成29年度より、経験者・特定研修の充実として実施)				担当課	担当課評価
					教育センター	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の経験段階に応じて職務遂行に必要な知識・技能等の習得を図る経験者研修の充実を図ります。</li> <li>・教職員の職務に応じた知識・技能等の習得を図る職能別研修の充実を図ります。</li> </ul>					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教職段階に応じた研修として、初任者研修、5年経験者研修、10年経験者研修、20年経験者研修を計画的に実施し、指導力の向上を図りました。</li> <li>・職能別研修として、「新任教務主任研修会」を新設し、ミドルリーダーの育成を図りました。また、「授業力アップ研修会」を増設し、臨時的任用教員の指導力の向上を図りました。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	講座数(回)	36	39	39		
	参加延べ人数(人)	1,496	1,746	1,907		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各経験者研修の人数が増え、教員一人ひとりが一年間に研修に参加する回数も増加しました。また、学校のニーズに応じた研修(教科研修の充実)を重視し、経験に応じた資質・能力の向上を図ることができました。</li> <li>・今後の課題として「アクティブ・ラーニング」の視点に立った授業づくりに向けた研修を実施していくなど、質の高い研修の実施に努めていく必要があります。</li> </ul>					
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修体系と研修内容の見直しを行い、研修の充実を図っていきます。</li> <li>・教員のキャリアステージに応じた、教員のニーズも踏まえた研修を効果的・効率的に行っていきます。</li> </ul>					

細 施 策	②管理職等研修の充実				担当課	担当課評価
					学校管理課	B
施策の内容	<p>教育に対する理念や識見を高め、管理職としてのリーダーシップを発揮できるよう管理職等研修の充実を図ります。</p>					
平成28年度実績	<p>校長、教頭を対象とした研修会を実施しました。(校長研修会、教頭研修会、一人一人を大切に、信頼関係に立つ教育推進教頭研修会、生きる力をはぐくむ校種間連携教育研修会等。)また、評価結果が昇給や勤勉手当に反映されることを踏まえた、人事評価制度研修会を実施しました。</p>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	研修会の実施回数(回)	19	23	26		
現状・課題	<p>研修会に加え、学校訪問や人事評価におけるヒヤリング等において、各学校の管理職が、学校経営・学校運営に関する理解を深め、地域社会から信頼される学校づくりを目指し、リーダーシップを発揮している様子を確認することができ、おおむね順調に進捗しています。平成28年度は、人事評価の評価結果が翌年度の昇給や勤勉手当に反映されることから、人事評価の評価者としてのスキルを上げるための研修を昨年度以上に充実させました。今年度も、より信頼性、納得性の得られるような人事評価が実施できるよう、研修内容を充実させていくことが課題です。</p>					
改善の方策等	<p>人事評価研修では、事例研修や演習を取り入れるなど、日々の学校運営や実務に生かせるような研修内容の改善を図ります。また、学校の組織力をさらに向上させていくために、校長を助け補佐する教頭や主幹教諭を対象とした研修会の充実を図ります。</p>					

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 3 質の高い教育を支える教育環境の充実  
 【施策の柱】 (1)教職員の資質向上

細 施 策	③奨励研修の充実 (平成29年度より、専門研修の充実として実施)							担当課	担当課評価
								教育センター	B
施 策 の 内 容	教職員の資質向上を図るために、教職員自らが希望して参加できる奨励研修の充実を図ります。								
平 成 2 8 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度奨励研修に参加した教員の人数は、延べ904人でした。</li> <li>・市全体の教員1,344名に対し、奨励研修に参加した教員が679名(50.5%)でした。</li> <li>・研修内容の充実を図るため、文科省や大学教授をはじめ各分野における第一線の講師陣を迎え、次期学習指導要領改訂を見据えた学習・指導方法等、より専門性の高い研修会を実施しました。</li> </ul>								
指 標 及 び 説 明	【指標】 専門研修(奨励研修)参加率				【説明】 市全体の教員の中で、希望による専門研修(奨励研修)に参加した教員の割合				
指 標 の 推 移	単 位	現 在 値 (H26)	実 績 値					目 標 値 (H32)	
	%	48.0	H27 47.9	H28 50.5	H29	H30	H31	H32	55.0
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨励研修(平成29年度より専門研修)に参加した教員の延べ人数は、昨年度の830人よりも74人増加しました。</li> <li>・2年目を迎えた「教育フェスタKAWAGOE」(特別研修)では、一層の研修内容の充実を図り、教職員が双方向で学び合い、高め合う研修を実施できたことも、研修参加人数の増加に繋がりました。</li> <li>・今後の課題として、キャリアステージに応じて求められる専門性の育成と合わせて、研修内容の充実を図っていくことが必要です。</li> </ul>								
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎市教職員のより一層の資質・能力の向上のため、研修体系の整備を図り、研修内容・研修方法の工夫改善に向けた見直しを進めていきます。</li> <li>・特に「カリキュラム・マネジメント」や「アクティブ・ラーニング」の視点から研修内容・研修方法の充実を図っていきます。</li> </ul>								

細 施 策	④若手・中堅教員の育成				担当課	担当課評価
					学校管理課・教育センター	B
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手・中堅教員の教育に対する識見を高め、資質・能力の向上を図ることを通して、学校運営の推進者となる人材を育成していきます。</li> <li>・教育フェスタKAWAGOEにおいて、優れた授業実践や研究の成果を広く発信し、一人ひとりの教員の学ぶ場を提供します。</li> </ul>					
平 成 2 8 年 度 実 績	かわごえミドルリーダー研修については、平成28年度は24名の参加がありました。年間9回の研修をとおして、ミドルリーダーとしてベテランや若手教員に対して積極的にコミュニケーションをとることの必要性等や、学校運営に対する意識が高まりました。また、同じ中堅教員として悩みや課題を共有しながら、その解決に向けて取り組むなど、実践的な研修を展開することができました。					
成 果 実 績	項 目 名 (単 位)	H26	H27	H28		
	かわごえミドルリーダー研修 参加教員数(人)	—	35	24		
現 状 ・ 課 題	平成27年度からの新規事業で、28年度は2年目の実施となります。研修をとおして、参加者の学校運営への参画意識を高めるとともに、視野を広げることができました。さらに、平成28年度の受講生の中から、学校運営に関わろうとし、管理職選考を目指す者や教育委員会に入る者もあり、おおむね順調に進捗しています。昨年度に比べ、参加人数が減ってしまったことから、各校からの積極的な参加を促すとともに、若手からの人材育成も課題となっています。					
改 善 の 方 策 等	平成29年度も、5月下旬の開講式及び第1回研修会を皮切りに1月までに9回実施する予定になっています。充実した研修内容を各校に周知しながら、積極的に参加者を推薦するよう促していきます。また、研修内容を多様化し、継続して研修することで、スキルアップを図れるようにしていきます。					

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 3 質の高い教育を支える教育環境の充実  
 【施策の柱】 (1)教職員の資質向上

細 施 策	⑤大学等進学指導力向上研修の推進							担当課	担当課評価
								学校管理課・市立川越高等学校	B
施策の内容	市立高等学校の教員を大学進学予備校や民間教育機関の研修等に派遣し、学習指導力の向上を図るとともに、その成果を校内に普及させる大学等進学指導力向上研修の推進を図ります。								
平成28年度実績	平成28年度は、予備校における教員研修プログラムに地歴公民科の1名の教員が参加しました。その成果を教科会で報告し、授業における改善、進学補習の工夫等に共通理解を図り、組織的な取組として成果を上げました。また、11月18日には授業公開を実施しました。 大学等の主な合格状況につきましても、東京理科大学、青山学院大学、立教大学、法政大学、学習院大学、立命館大学などの難関大学に合格するなど、成果を上げています。								
指標及び説明	【指標】 研修参加教員数				【説明】 大学等進学指導力向上研修に参加する教員の延べ人数				
指標の推移	単位 人	現在値 (H26)	実 績 値					目標値 (H32)	
		25	H27 29	H28 30	H29	H30	H31	H32	49
現状・課題	研修に参加した教員数・割合は増加し、おおむね順調に進捗していますが、大学等の進学指導に直接かかわる5教科(国・社・理・数・英)の教員が中心となって参加することもあり、全職員数に占める割合は6割を超えたところとなっています。								
改善の方策等	市立高等学校の進学率の向上とともに、参加教員数の増加を積極的に図るよう取り組んでまいります。								

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 3 質の高い教育を支える教育環境の充実

施 策 の 柱	(1)教職員の資質向上				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施 策 評 価	①経験・職能別研修の充実	教育センター	A	B	B
	②管理職等研修の充実	学校管理課	B		
	③奨励研修の充実	教育センター	B		
	④若手・中堅教員の育成	学校管理課 教育センター	B		
	⑤大学等進学指導力向上研修の推進	学校管理課 市立川越高等学校	B		
学 識 経 験 者 等 意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の資質向上については、ベテランの教職員が持っている知見、知識、見識を若い世代に伝えることが大変重要だと思うので、引き継ぎ等に注意しながら世代交代を行っていただきたい。</li> <li>・若手教職員の育成のため、中堅教職員の若手に対する指導についてのノウハウ等を伸ばしていただきたい。</li> </ul>				

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 3 質の高い教育を支える教育環境の充実  
 【施策の柱】 (2)学習環境の整備・充実

細 施 策	①大規模改造工事等学校施設の整備の推進							担当課	担当課評価
								教育財務課	B
施策の内容	学校施設設備の老朽化した部分等の緊急性や必要性などを検討し、建物の耐久性の向上を図るため、大規模改造工事、トイレ改修工事等計画的な施設・設備の整備を進めていきます。								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模改造工事を実施(小学校1校、中学校2校)</li> <li>・トイレ改修工事を実施(小学校1校、中学校1校)</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 大規模改造工事の推進				【説明】 市立小・中学校の大規模改造工事の実施割合				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
	%	59.8	H27 61.4	H28 62.9	H29	H30	H31	H32	81.0
現状・課題	平成28年度の実績値から、おおむね順調に進捗しています。								
改善の方策等	国庫補助の交付の見込みが薄くなってきているため、工事内容の見直し等を図り、目標水準を維持できるようにします。								

細 施 策	②普通教室への空調設備の設置				担当課	担当課評価
					教育財務課	A
施策の内容	児童生徒が集中して学習できる教育環境を整備するため、小・中学校の普通教室への空調設備の設置を計画的に進めていきます。					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通教室等に空調設備を設置(小学校3校)</li> <li>・普通教室等に空調設備を設置するために必要な実施設計業務委託を実施(小学校15校)</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)		H26	H27	H28	
	小学校普通教室空調設備設置校数(目標値32)		—	—	3	
	中学校普通教室空調設備設置校数(目標値22)		—	—	0	
現状・課題	小学校3校の普通教室に空調設備を設置し、15校の実施設計を完了したため、順調に進捗しています。					
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校について、平成29年度に15校の工事及び14校の実施設計を行い、平成30年度までに全ての普通教室に空調設備を設置できるようにします。</li> <li>・中学校について、平成29年度に基礎調査を行い、早期に全ての普通教室に空調設備を設置できるようにします。</li> </ul>					

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 3 質の高い教育を支える教育環境の充実  
 【施策の柱】 (2)学習環境の整備・充実

細 施 策	③学校図書館の充実							担当課	担当課評価
								教育指導課	B
施 策 の 内 容	学校の教育活動の中で、学校図書館の活用が図れるよう、児童生徒の実情に応じた図書を計画的に購入し、蔵書の充実に努めます。								
平 成 2 8 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校に適切に予算を配当し、計画的に図書を購入しました。</li> <li>・調べ学習や発展的な学習に活用できる本や児童生徒が興味・関心を寄せている本を計画的に購入し、学校図書館の環境整備を図りました。</li> </ul>								
指 標 及 び 説 明	【指標】 小学校における学校図書館図書標準の達成率				【説明】 各市立小学校における学校図書館図書標準の平均の達成率				
指 標 の 推 移	単 位	現 在 値 (H26)	実 績 値					目 標 値 (H32)	
	%	83.3	H27	H28	H29	H30	H31	H32	92.4
現 状 ・ 課 題	図書の計画的な購入により、図書標準の達成率は年々向上しており、おおむね順調に進捗しています。								
改 善 の 方 策 等	計画的な図書の購入と適切な蔵書の入替えにより、蔵書の量的確保とともに質的向上が図れるよう整備を進めます。								

細 施 策	④教育機会均等化のための支援				担当課	担当課評価
					教育総務課・教育財務課	B
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して必要な援助を行うため、就学援助制度を推進します。</li> <li>・経済的な理由により高等学校等の学校へ進学することが困難な方に育英資金の貸付を行います。</li> </ul>					
平 成 2 8 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度も4,000人を超える児童生徒が就学援助制度を利用することができました。</li> <li>・育英資金の新規貸付については、世帯の所得状況等を考慮し、入学準備金を29人に、学資金を40人に、それぞれ決定することができました。</li> </ul>					
成 果 実 績	項 目 名 (単 位)	H26	H27	H28		
	就学援助認定者数(小学校)	2,794	2,720	2,807		
	就学援助認定者数(中学校)	1,731	1,643	1,666		
	入学準備金(新規)貸付決定率(%)	60.00%	81.58%	90.60%		
	学資金(新規)貸付決定率(%)	88.09%	78.72%	85.10%		
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、新入学児童生徒学用品費等は入学後の5月に支給しています。この支給時期を、入学前の3月に早めることが望ましいと思われます。</li> <li>・育英資金の貸付については支援が必要な方に行っており、順調に進捗していますが、入学準備金の貸付時期について、現状の3月末から早めることが望ましいと思われます。</li> </ul>					
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度入学者から新入学児童生徒学用品費等を早期支給します。</li> <li>・育英資金の入学準備金の貸付時期について、現在より早期に実施できるよう検討を進めます。</li> </ul>					

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 3 質の高い教育を支える教育環境の充実

施策の柱		(2) 学習環境の整備・充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①大規模改造工事等学校施設の整備	教育財務課	B	B	B
	②普通教室への空調設備の設置	教育財務課	A		
	③学校図書館の充実	教育指導課	B		
	④教育機会均等化のための支援	教育総務課 教育財務課	B		
学識経験者等 学意見	<p>トイレ改修については、子どもたちがトイレが臭くて我慢しているというようなこともあるので、できるだけ早めにすべての学校で実施されるように進めていただきたい。</p>				

- 【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 3 質の高い教育を支える教育環境の充実  
 【施策の柱】 (3)学校給食の充実

細 施 策	①給食内容の充実							担当課	担当課評価
								学校給食課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心でおいしい給食を提供するとともに、栄養のバランスが取れた給食を提供し、児童生徒の健康の増進や体力の向上を目指します。</li> <li>学校給食で使用する食材の安全確保に努めるとともに、地場産物の使用拡大に努めます。</li> <li>アレルギー対応食が安全で確実に提供できるよう実施体制の整備を図ります。</li> </ul>								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食における摂取基準に基づき、学校給食を小学校・中学校で187回実施しました。</li> <li>農産物等の産地証明、残留農薬証明書等を求め、給食材料の安全性を確保しました。</li> <li>地産地消の考えから、主食米については川越産米約243t、野菜については76t(16品目)を使用しました。</li> <li>食材について、毎日3品目程度と給食1食分の放射性物質検査を実施しました。</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 学校給食における地場産物の使用割合				【説明】 学校給食で使用する野菜のうち、地場産野菜の使用割合(重量比)				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実 績 値					目標値 (H32)	
	%	8.1	H27 22.9	H28 18.5	H29	H30	H31	H32	22.0
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地場産野菜の使用については、天候等により左右されます。平成28年度は、天候の影響等で、平成27年度より使用割合が下がったものの、おおむね順調に進捗しています。</li> <li>米飯については、継続して川越産米を100%使用しています。</li> <li>平成30年度からの食物アレルギー対応食の提供に向け、平成28年度に学校給食食物アレルギー対応検討委員会で検討を行い、「川越市学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」を作成しました。</li> </ul>								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も地場産農産物の利用を増やしていくため、地場産物を生かした献立や、収穫期に合わせた献立等、地場産物を積極的に取り入れていきます。</li> <li>食材の安全性確保のため、引き続き放射性物質の検査を実施していきます。</li> <li>食物アレルギー対応の実施について、学校や保護者への周知・説明を行っていきます。</li> </ul>								

細 施 策	②学校給食施設の整備				担当課	担当課評価
					学校給食課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>新学校給食センターの整備運営事業については、PFIの手法により推進していきます。</li> <li>今成学校給食センターと菅間学校給食センターは、施設の改修と設備の修繕等を計画的に推進していきます。</li> </ul>					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度に契約した(仮称)川越市新学校給食センター整備運営事業について、当初の計画どおり、平成28年6月に設計を完了させ、7月から建設工事に着手しました。</li> <li>学校給食センターの設備改修のための工事を行いました。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	改修工事	事務室等空調設備工事(今成)	排水圧送管布設工事設計業務委託(菅間)	排水圧送管布設工事(菅間)		
		焼物機等改修工事(今成)	排水貯留槽等設置工事設計業務委託(菅間)	排水貯留槽等設置工事(菅間)		
現状・課題	新学校給食センターの整備運営事業、今成学校給食センター及び菅間学校給食センターの改修共に計画どおり順調に進捗しています。					
改善の方策等	引き続き計画どおり順調に進捗するよう努めます。					

- 【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 3 質の高い教育を支える教育環境の充実

施策の柱		(3) 学校給食の充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①給食内容の充実	学校給食課	B	A	A
	②学校給食施設の整備	学校給食課	A		
学識経験者等 意見	新学校給食センターではアレルギー対応食の提供を行う予定とのことであり、個別に対応できることは素晴らしいことなので、ぜひ実施していただきたい。				A

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 3 質の高い教育を支える教育環境の充実  
 【施策の柱】 (4)市立川越高等学校の改革・充実

細 施 策	①市立川越高等学校将来構想の検討と推進				担当課	担当課評価
					学校管理課・市立川越高等学校	B
施策の内容	川越市立川越高等学校教育審議会からの意見を踏まえ、時代の要請と市民の期待に応える市立川越高等学校の在り方について検討するとともに、市民の負託に応える魅力ある市立高等学校づくりを推進します。					
平成28年度実績	各学科とも35人少人数学級編制、地域特別選抜を実施しました。教員の研修では、「大学等進学指導力向上研修」を活用し、大学進学予備校に教員を1名派遣し、学習指導力の向上を図りました。中高連携では昨年度と同様、3中学校との校種間連携教育の委嘱を受け、城南中2年生全員の体験授業の実施や、本校からの出前授業、中学校保護者への説明会、校内見学を推進しました。また、「川越市立川越高等学校長期的ビジョン」に係る学校における検討(報告)をいたしました。					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	全商検定3種目以上1級合格者数(人)	49	48	54		
	進路決定率(%) (大学及び専門学校進学者・就職者/卒業生)	97.6	95.0	92.3		
現状・課題	商業系(情報処理科・国際経済科)の生徒は、全商検定3種目以上1級の合格者数が、50名を超え、資格取得者数県内3位となり、普通科の生徒は、大学・短大への進学者数、進学率が高まっています。					
改善の方策等	平成27年度に開催された川越市立川越高等学校教育審議会の答申を踏まえ、時代の要請と市民の期待に応える市立川越高等学校づくりに資するため、継続的に将来構想について検討し、平成28年度に「川越市立川越高等学校長期的ビジョン」に係る学校における検討(報告)を受け、平成29年度には最終「長期的ビジョン」の原案策定を固めていきます。					

細 施 策	②市立川越高等学校教育環境の整備・充実				担当課	担当課評価
					市立川越高等学校	B
施策の内容	よりよい教育環境を整え、教育効果を高めるため、大規模改修の工事や施設設備の更新等、計画的に推進します。					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LL教室の空調設備改修工事を行いました。</li> <li>・突発的なものも含め47件の修繕を行いました。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	施設・設備改修工事	中庭整備工事	保健室空調設備改修工事	LL教室空調設備改修工事		
	施設・設備修繕件数(件)	61	44	47		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築後、20年以上経過しているため、予定外の突発修繕が多く、機能を維持するために、応急的な修繕で対応しています。</li> <li>・施設、設備の老朽化が進んでいるため、関係課と協議し、大規模改修等の計画を策定し、計画的な改修等を行っていく必要があります。</li> </ul>					
改善の方策等	教育環境の維持・向上を図るため、第四次川越市総合計画実施計画に位置付け、計画的に施設・設備の改修、修繕を行ってまいります。					

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 3 質の高い教育を支える教育環境の充実

施策の柱		(4) 市立川越高等学校の改革・充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①市立川越高等学校将来構想の検討と推進	学校管理課 市立川越高等学校	B	B	B
	②市立川越高等学校教育環境の整備・充実	市立川越高等学校	B		
学識経験者等 意見	なし				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 3 質の高い教育を支える教育環境の充実  
 【施策の柱】 (5)教育センターの充実

細 施 策	①教育センターの整備・開放の充実				担当課	担当課評価
					教育センター	B
施策の内容	教育センターの機能を充実させるため、教職員研修体制の整備を図るとともに、地域住民も活用できる施設となるよう推進します。					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度は、体育館の屋根、電動昇降式バスケットゴールに係る工事を行いました。</li> <li>・施設の市民への無料貸出について広く周知され、施設利用者の延べ人数も3万人を超えました。</li> <li>・1階施設は市民の使用を優先し、主に昼間に活発に利用されています。また、体育館は、教職員研修と重ならない場合において、9時15分から20時45分まで市民に貸し出しを行うとともに、運動場は地域のサッカー団体に土・日曜日に貸し出しを行いました。</li> <li>・休日や夜間の貸し出しについては、管理業務を川越市シルバー人材センターに委託し、市民が施設を安全に利活用できる環境づくりを行いました。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	1階施設利用者数(人)	7,317	10,434	11,891		
	体育館及びグラウンドの利用回数と人数(回/人)	755/22,186	667/19,380	644/21,989		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館に設置されている設備等に故障が見られるようになってきています。無料で貸出をしているため、修繕費は市で負担することになっています。設備等を丁寧にかつ安全に使用していただくことを周知していきます。</li> <li>・市内各校の体育館が卒業式、入学式で使えなくなるため、3月、4月期に利用団体が集中します。この時期は、申込順ではなく、職員が調整し利用していただくことで無用のトラブルを回避していきます。</li> </ul>					
改善の方策等	体育館を利用する市民の要望に応え、修理等の事案については、業者等の選定も含めて早急に対応し利用しやすい施設としての環境を整備していきます。					

細 施 策	②保護者・地域との連携研修の充実							担当課	担当課評価
								教育センター	B
施策の内容	不登校や情報モラルの諸問題など、今日的な教育課題解決のために、学校や家庭・地域と連携した研修の充実を図ります。								
平成28年度実績	「家庭・地域連携 保護者とともに考える研修会」において「情報モラル教育の進め方」の研修を行い、保護者・教職員にゲーム機、携帯電話(スマートフォン)等の使用に起因する子どもへの危険性や対処方法、与える際のルールづくり等について考えを深めることができました。保護者と教師で話し合いを行ったことで、様々な視点から考えることができました。								
指標及び説明	【指標】 保護者・地域との連携研修参加者数				【説明】 保護者とともに考える研修会への保護者の参加者数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値						目標値 (H32)
	人	103	H27 107	H28 99	H29	H30	H31	H32	120
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の出席者の多くは各校のPTA役員です。各学校の各家庭に周知する意識をもてるように、各校の情報担当者や連携を図りながら働きかけていきます。</li> <li>・研修会の進め方についても改善を図るようにしていきます。</li> </ul>								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会の周知方法の工夫を図り、保護者の参加者の増加に努めます。</li> <li>・講演会では、情報モラル教育に関わる内容等、子どもの生活状況に密着した課題を扱い、実生活に生かせる必要感ある研修内容になるよう努めます。</li> </ul>								

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 3 質の高い教育を支える教育環境の充実

施策の柱		(5) 教育センターの充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①教育センターの整備・開放の充実	教育センター	B	B	B
	②保護者・地域との連携研修の充実	教育センター	B		
学識経験者等 意見	なし				

- 【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 3 質の高い教育を支える教育環境の充実  
 【施策の柱】 (6)地域に開かれた特色ある学校づくりの推進

細 施 策	①学校評議員制度の充実				担当課	担当課評価
					学校管理課	A
施 策 の 内 容	地域に開かれた特色ある学校づくりを推進していくため、学校や地域の実情等に応じて学校評議員会を設置します。このことにより、保護者や地域住民等の意向を反映するとともに、学校の教育活動等を周知し、学校運営の充実を図ります。					
平 成 2 8 年 度 績 実	学校の現状と課題に即して、積極的な意見交換のもと、活発な話し合いによる学校評議員会議が実施されています。特に各学校の学校評価において、学校評議員が学校関係者評価の評価者である割合が大きく、開かれた学校づくりに寄与していると考えられます。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	学校評議員が学校関係者評価の評価者になっている学校	56/56	56/56	56/56		
	学校評価の公表率	56/56	56/56	56/56		
現 状 ・ 課 題	すべての市立学校で、ほとんどの学校評議員が学校関係者における評価者になっており、学校経営に関わる情報の共有化が図られています。学校は、保護者や地域住民等の意見の把握、反映だけでなく、学校運営の状況等を周知するなど、順調に進捗しています。今後、更に結果を公表する場や機会を増やしていく必要があります。					
改 善 の 方 策 等	各学校で教育活動等について計画的に自己評価を行い、その結果を公表するとともに、多様な意見を幅広く広め、学校経営に生かすために積極的な情報提供を行っていきます。					

細 施 策	②地域人材活用事業の充実				担当課	担当課評価
					学校管理課	A
施 策 の 内 容	小・中・特別支援学校が特色ある学校づくりを推進していくため、多様な体験活動が展開できるように関係団体や地域の方々と連携し、各校の学校教育活動の一層の充実を図ります。また、小学校における外国語活動の充実のため指導体制の強化に努めていきます。					
平 成 2 8 年 度 績 実	市立小中学校53校が、トータルで305回、40団体と個人併せて604人の地域人材からそれぞれの学校において必要な支援をいただきました。児童生徒は、地域人材との交流によって、豊かな体験を得るばかりでなく、表現力やコミュニケーション能力を伸ばすことができました。年度当初予定回数275回に対して111%の実績で、十分に活用が図れました。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	活用回数	401	391	305		
現 状 ・ 課 題	各学校からは、地域人材活用に対する期待が高く、活用回数を増やしたい意向です。平成28年度も、学校の実態や活用状況に応じて適宜、活用の追加承認を行い、年度当初の予定回数を上回る事業を実施しています。					
改 善 の 方 策 等	今後も、学校からの計画に基づき、地域人材の活用に応えることによって、更に各校の特色ある教育活動の充実を図ります。					

- 【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 3 質の高い教育を支える教育環境の充実  
 【施策の柱】 (6)地域に開かれた特色ある学校づくりの推進

細 施 策	③日本語指導ボランティアの充実				担当課	担当課評価
					学校管理課	B
施策の内容	各学校に在籍する外国籍等の児童生徒のうち、特に日本語指導が必要とされる児童生徒に対して、日本語指導ボランティアの派遣を推進し、日本語指導、学校生活への適応指導の支援など、日本語指導ボランティアの充実を図ります。					
平成28年度実績	平成28年度は、市立小中学校28校に在籍する外国籍等の児童・生徒で、日本語指導ボランティアの申請があった70人中、63人に対してボランティア24人を週1～2回派遣しました。派遣回数は延べ817回でした。					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	申請受付数(人)	36	46	70		
	日本語指導ボランティア派遣	33	42	63		
現状・課題	日本語指導を要する児童生徒が増加傾向にあります。特に中国語圏、タガログ語圏からの編入学が増えており、その中でも、両親、本人とも全く日本語を話すことができないまま来日するケースが目立っています。中国語を始め、英語以外の言語に対応できる日本語指導ボランティアが不足していることが課題です。					
改善の方策等	今後、日本語指導を必要とする外国籍等の児童生徒が増え、またその母国語の多様化によって、日本語指導ボランティアに求められる言語も多様化していくことが予想されます。これらに対応できるよう、効率的な派遣方法や人材確保のため、関係機関との連携を図っていきます。					

細 施 策	④学校評価の活用				担当課	担当課評価
					学校管理課	B
施策の内容	PDCAサイクルによる学校の自己評価、外部アンケート等の実施、学校関係者評価などを通して、教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と充実を図るとともに、地域に開かれた特色ある学校づくりを目指します。					
平成28年度実績	各学校が自己評価のために、学校関係評価委員による授業参観、学校観察等を行うとともに、教員による自己評価・外部アンケートを実施しました。自己評価により、学校の課題や改善点を整理し、学校運営を改善することができました。					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	学校評価で評価が向上した項目数	—	46	6		
	学校評価で評価Aの割合(%)	53.3	58.8	58.6		
現状・課題	各学校が、学校関係者に学校自己評価の評価理由及び改善策を提示し、年度末に学校関係者評価を実施し意見を伺っています。PDCAサイクルによる学校運営がおおむね順調に進捗しています。					
改善の方策等	学校評価評価項目を、学校の実態に合わせたものにするために、関係者との連携を更に進め、学校運営の改善に資する学校評価を実現できるよう努めていきます。					

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 3 質の高い教育を支える教育環境の充実

施策の柱		(6) 地域に開かれた特色ある学校づくりの推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①学校評議員制度の充実	学校管理課	A	A	A
	②地域人材活用事業の充実	学校管理課	A		
	③日本語指導ボランティアの充実	学校管理課	B		
	④学校評価の活用	学校管理課	B		
学識経験者等	日本語を母国語としない児童への日本語指導については、特に考え方の概念ができていない低学年への指導は非常に難しいと思うので、広く周知を図り、様々なところから人材を集めて、日本語指導ボランティアの充実を図っていただきたい。				A

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 3 質の高い教育を支える教育環境の充実  
 【施策の柱】 (7)小・中学校の適正規模・適正配置

細 施 策	①小・中学校の適正規模・適正配置等の検討				担当課	担当課評価
					学校管理課	B
施 策 の 内 容	今後、全市的には、児童生徒数の減少が見込まれる中で、地域的な状況も加味しつつ子どもたちにとってよりよい教育環境を整備するため、川越市立小・中学校の適正規模・適正配置等に係る考え方を検討していきます。					
平 成 2 8 年 度 績	平成27年3月に作成した「川越市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針の策定に向けて」を土台に、同年7月の政策企画課の通知「第四次川越市総合計画における将来人口推計について」や本市の現状なども参考にしつつ、前年度に引き続き、市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針の策定のための検討を行いました。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	小中学校の在り方検討委員会の開催回数	3	2	2		
	検討内容	市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針等	市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針等	市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針等		
現 状 ・ 課 題	市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針の策定のためには、市長部局の関係各課を交えての検討が必要です。 平成28年6月に示された「川越市公共施設等総合管理計画」や、本市の現状等との整合も考慮する必要があることなどにより、当該各課を交えて検討するには至りませんでした。なお、おおむね順調に進捗しています。					
改 善 の 方 策 等	平成27年1月に文部科学省が発出した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引」等を参考にしつつ、「川越市公共施設等総合管理計画」との整合も考慮しながら、「川越市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針の策定に向けて」に、小中一貫化等必要な記述を加筆、修正するなどの形で、本市としての小・中学校適正規模・適正配置基本方針を策定するため、市長部局の関係各課の協力を求め、検討を進めてまいります。					

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進  
 【施策】 3 質の高い教育を支える教育環境の充実

施 策 の 柱		(7)小・中学校の適正規模・適正配置			
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施 策 評 価	①小・中学校の適正規模・適正配置等	学校管理課	B	B	B
学 識 経 験 者 等	学校と地域とは密接に関連しており、学校の統廃合等は地域社会に非常に大きな影響を及ぼすので、川越市において最も適正な方向性はどのようなものかということを考えていただきたい。				

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上  
 【施策の柱】 (1)家庭への支援

細 施 策	①家庭教育の支援			担当課	担当課評価
				地域教育支援課	A
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児の親や小・中学校、高等学校の保護者を対象に、子どもの成長・発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会を提供します。</li> <li>・身近な地域や学校をはじめとする豊かなつながりの中で家庭教育が行われるよう、指導者の養成に努めます。</li> </ul>				
平 成 2 8 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA家庭教育学級委託事業:54校(延べ事業数251回、延べ参加者数8,197人)</li> <li>・家庭教育学級運営講座:1回(参加者数:51人)</li> <li>・保育園家庭教育講座:16回(参加者数:381人)</li> <li>・幼稚園家庭教育講座:6回(参加者数:336人)</li> <li>・高等学校家庭教育講座:1回(参加者数:95人)</li> <li>・親の学習講座:21回(参加者数1,979人)</li> <li>・家庭教育講座登録講師研修会:1回(参加者数:9人)</li> </ul>				
成 果 実 績	項目名(単位)	H26	H27	H28	
	幼保高家庭教育講座(回)	23	25	23	
	PTA家庭教育学級委託数(校)	54	54	54	
現 状 ・ 課 題	<p>PTA家庭教育学級については、全54校に委託し、各PTAごとに特色ある家庭教育学級を実施し、家庭の教育力の向上が図れました。また、保育園・幼稚園・高等学校家庭教育講座については、公立保育園・私立幼稚園、高等学校で計23回実施し、順調に進捗しています。</p>				
改 善 の 方 策 等	<p>今後も引き続き、市内保育園や幼稚園に充実した内容の家庭教育講座を提供し、家庭の教育力の向上を図ります。        また、家庭教育講座講師に対して研修会を行い、資質の向上を図ります。</p>				

細 施 策	②学童保育の充実			担当課	担当課評価
				教育財務課	B
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の就労等により家庭が常時留守になっている児童を対象に、放課後及び休日等の居場所を確保するとともに、児童の健全育成を図ります。</li> <li>・学童保育室の整備、改修等を行い、保育環境の改善を図ります。</li> <li>・放課後児童支援員(学童保育指導員)の確保と資質の向上に努めます。</li> </ul>				
平 成 2 8 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初の学童保育室を利用する児童数は2,338人でした。(全児童に占める割合は13.1%、入室を待機している児童はいない)</li> <li>・校舎の増築に伴い南古谷学童保育室の改築工事を行いました。狹隘化対応として武蔵野学童保育室他9室の増室を行いました。</li> <li>・放課後児童支援員認定資格研修に学童保育指導員40名を受講させました。</li> </ul>				
成 果 実 績	項目名(単位)	H26	H27	H28	
	年度当初の入室児童数(人)	2,037	2,166	2,338	
	学童保育室施設設備等の工事、修繕数(件)	147	118	124	
	放課後児童支援員認定資格研修受講者数(人)	-	32	40	
現 状 ・ 課 題	<p>年度当初の入室児童数は増加していますが、余裕教室の転用、特別教室の放課後利用等を行い、申請があった入室要件を満たした児童をすべて受け入れており、児童の放課後等の居場所確保を図ることができました。また、放課後児童支援員資格認定研修について計画的に受講させ、おおむね順調に進捗しています。        次年度以降、入室児童数の増加に伴い、受け入れに必要な保育場所及び指導員の確保が難しくなってきています。</p>				
改 善 の 方 策 等	<p>狹隘化した学童保育室については、第四次川越市総合計画実施計画に位置付け、増築、余裕教室の転用等を図ってまいります。        指導員の確保については引き続き募集してまいります。</p>				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(1) 家庭への支援				総合評価
	細施策	担当課	施策評価		
				細施策	施策の柱
施策評価	①家庭教育の充実	地域教育支援課	A	A	A
	②学童保育の充実	教育財務課	B		
学識経験者等 意見	<p>・学童保育については、入室児童数の増加により、保育時間等の保護者のニーズも多様化していると思われるため、保護者のニーズを確認しながら入室児童数増加への対応を考えていただきたい。</p> <p>・高学年の児童については、放課後子供教室や子どもサポートのようなものの活用も検討し、高学年なりの学童保育室等での過ごし方の方向性を考えていただきたい。</p>				A

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上  
 【施策の柱】 (2)地域の教育力の向上

細 施 策	①学校・家庭・地域の連携推進							担当課	担当課評価
								地域教育支援課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・家庭・地域の連携・協働により、地域ぐるみの教育の充実に努めます。</li> <li>・地域の特色を生かした体験活動と学校応援団活動の充実に努めます。</li> <li>・子どもたちの「生きる力」を育むため、家庭や地域の教育力の向上に努めます。</li> <li>・「放課後子供教室」の実施に向けた検討を進めます。</li> </ul>								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもサポート委員会によるイベント型事業数139件(延べ参加者数21,270人)</li> <li>・子どもサポート委員会による学校応援団活動数1,311件(延べ参加者数27,008人)</li> <li>・子どもサポート委員会開催数133回(延べ参加者数2,563人)</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】子どもサポート事業への参加者数				【説明】市内14地区の子どもサポート事業への参加者数				
指標の推移	単位	現在値(H26)	実績値					目標値(H32)	
	人	32,935	H27	H28	H29	H30	H31	H32	33,330
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもサポート事業への参加者数は、各地区の特色を生かし、子ども達の体験活動を充実する事業が多かったため、ほぼ目標通り、順調に進捗しています。</li> <li>・学校応援団活動については、各サポート委員会で活動の広がりが見られ、内容も充実し、順調に進捗しています。</li> </ul>								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもサポート事業への参加者数は、子供たちの実態に即するよう、活動内容の改善を続け、更に多くの児童生徒が参加できるよう支援していきます。</li> <li>・学校応援団活動については、学校の要望等を各地区に伝え、活動が更に充実されるよう支援していきます。</li> </ul>								

細 施 策	②社会教育関係団体への支援							担当課	担当課評価
								地域教育支援課	A
施策の内容	子どもたちの学びや体験活動の充実に図るため、PTAや子ども会育成会などの社会教育関係団体の活動を支援します。								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA:広報紙「P連かわごえ」年3回発行(7月、12月、3月)、広報紙コンクール開催。PTA講演会。PTA研究集会。県内視察研修開催。</li> <li>・市子連:広報誌「ひろば」年4回発行。川越市子ども会かるた大会開催。ジュニアリーダースクール年6回開催。育成者研修会年2回開催。県外視察研修開催。</li> </ul>								
成果実績	項目名(単位)		H26	H27	H28				
	川越市PTA講演会参加者数(人)		285	330	272				
川越市ジュニアリーダースクラブの登録者数(人)		339	365	371					
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越市PTA連合会事業は、計画どおり実施されており、順調に進捗しています。</li> <li>・川越市子ども会育成団体連絡協議会事業は計画どおり実施されており、順調に進捗しています。</li> </ul>								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越市PTA連合会に対し、今後も引き続き同様の支援を行ってまいります。</li> <li>・川越市子ども会育成団体連絡協議会に対し、今後も引き続き同様の支援を行ってまいります。</li> </ul>								

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上  
 【施策の柱】 (2)地域の教育力の向上

細 施 策	③地域の教育活動への支援							担当課	担当課評価
								中央公民館	B
施策の内容	町内(字町)公民館講座や公民館登録グループの公開講座等の開設を支援するとともに、各種団体との連携による活動を通じ、地域の教育活動を支援します。								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町内等の公民館において、地域の教育活動の振興や社会福祉の増進に寄与することを目的とする86館(157,341人)を支援しました。</li> <li>・公民館の主催事業及び公民館と地域団体との共催事業の講座数237講座、参加者延べ人数28,087人。</li> <li>・地域団体が主催し、公民館が事務支援している団体数57団体、参加者延べ人数11,810人(地域の教育活動を支援の成果実績は、公民館主催事業への参加者数に含まれています。)</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 講座数及び講座参加者数				【説明】 公民館登録グループの公開講座等の講座数及び参加者延べ人数				
指標の推移	単位	現在値(H26)	実績値					目標値(H32)	
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	講座	292	280	237				300	
	人	24,907	29,306	28,087				25,000	
現状・課題	公民館登録グループの公開講座等を積極的に展開していますが、登録グループ数そのものが減少傾向となっています。また、講座数や参加者数は前年度と比較すると減少していますが、参加者数は目標値を超えています。								
改善の方策等	引き続き、地域の教育活動が活発になるよう、地域教育活動団体の教育事業等を支援・連携していきます。								

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(2)地域の教育力の向上				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①学校・家庭・地域の連携推進	地域教育支援課	A	A	
	②社会教育関係団体への支援	地域教育支援課	A		
③地域の教育活動への支援	中央公民館	B			
学識経験者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもサポート事業に参加していた子どもたちが大きくなって、今度は運営側に回るといようなかたちができるとういと考えている。</li> <li>・公民館の主催事業の講座については、多様性が失われないような取組を行っていただきたい。</li> <li>・公民館登録グループについては、できるだけ負担が大きくならないようにしながら、公民館事業への協力を求めていくという姿勢は変えずに事業を進めていただきたい。</li> </ul>				A

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進  
 【施策の柱】 (1)生涯学習を推進する基礎づくり

細 施 策	①生涯学習を推進するための体制の充実				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課・中央公民館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が利用しやすい「市民活動・生涯学習施設」の充実に努めます。</li> <li>・市民の生涯学習活動を支援する職員の意識啓発や資質を高めるための研修を実施します。</li> <li>・協働に関する研修を実施し、市民と行政が連携した事業の推進を図ります。</li> </ul>					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「市民活動・生涯学習施設」において、指定管理者による提案事業講座を約400時間実施しました。</li> <li>②基本法令及び公民館の事業企画の手法を学ぶための公民館職員研修会を5回開催しました。(参加者55名)</li> <li>③市職員に対して、地域でコミュニティカフェや貧困家庭に対する学習支援を行っている団体の代表者を講師に招いて、協働に関する研修会を実施しました。(参加者94名)</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	市民活動・生涯学習施設平均稼働率(%)	—	39.0	56.5		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「市民活動・生涯学習施設」は、平成27年度の供用開始時より施設の認知度が高まり、稼働率が上がってきています。</li> <li>②公民館職員研修会は、通常業務が多忙なこと等から、参加者が少ないことが懸念されています。</li> <li>③協働に関する研修会は、年1回の開催であり、参加者も各課1名程度であるため、市職員全体の協働の意識向上に結びついていません。</li> </ul>					
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①指定管理者と連携し、「市民活動・生涯学習施設」の適正な管理運営をしてまいります。</li> <li>②他の事業や会議等と重なることがないよう、調整を図りながら、公民館職員研修会を実施していきます。</li> <li>③研修の対象職員、実施内容等を見直す必要があります。</li> </ul>					

細 施 策	②市民参加の体制の充実				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課・中央公民館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民と行政の情報交換や相互交流を充実させ、行政の事業等に参加しやすい体制の充実に努めます。</li> <li>・市民と行政との協働を効果的に達成するため、「協働推進事業制度」を積極的に推進します。</li> <li>・地域活動を推進する人材の発掘に努めます。</li> </ul>					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>①17公民館で、公民館運営協力委員会を延べ33回実施しました。【延べ273名の参加】</li> <li>②市民活動団体等から提案のあった11事業に対し、川越市協働事業審査委員会にて審査を行い、補助金を交付しました。</li> <li>③市民講師(主宰者)を募集する市民講座を、前期32講座、後期16講座の計48講座実施しました。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	提案型協働事業補助金応募件数(件)	12	12	11		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①公民館運営協力委員会が公民館利用団体等との情報交換の場のみとなっています。</li> <li>②提案型協働事業の応募件数が毎年横ばいとなっているため、要項を見直すとともに、市民活動団体等に対する周知を広げる必要があります。</li> <li>③市民講座は、市内公民館、文化施設、ウエスタ川越市民活動・生涯学習施設を利用し、開催していますが、年度によって応募件数にばらつきがあり、一定していません。</li> </ul>					
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①公民館運営協力委員会が、新たな公民館事業の提案を行う等の役割を担っていく必要があります。</li> <li>②提案型協働事業の補助金の補助率、補助対象経費、事業募集のスケジュール等の要件を見直す必要があります。</li> <li>③市民講師(主宰者)募集については、周知方法の充実に努めます。</li> </ul>					

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(1)生涯学習を推進する基礎づくり			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①生涯学習を推進するための体制の充実	文化芸術振興課 中央公民館	B	B	B
	②市民参加の体制の充実	文化芸術振興課 中央公民館	B		
学識経験者等	<p>・市民活動・生涯学習施設の指定管理者による提案事業講座については、内容を十分に把握しながら、市の考えが反映された講座を実施していただきたい。</p> <p>・提案型協働事業については、もう少し協働というものを意識してほしいと思われる事業が見られるため、市民と行政がうまく連携をとりながら事業を実施できるよう、協働事業そのものの理解が深まるように取り組んでいただきたい。</p>				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進  
 【施策の柱】 (2)市民の学習ニーズの把握及び生涯学習情報の充実

細 施 策	①学習ニーズの把握				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	A
施 策 の 内 容	市民意識調査や講座受講後の満足度調査等、各種アンケート等の調査活動を実施し、市民の学習ニーズの把握に努めます。					
平 成 2 8 年 度 績 実	川越大学間連携講座を実施した4大学において、受講生に対しアンケートを実施しました。また、高校生小説大賞関連事業「小説の書き方講座」において、アンケートを実施しました。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	アンケート調査実施回数(回)	4	4	5		
現 状 ・ 課 題	アンケート調査実施回数の成果実績は、計画どおり実施することができ、順調に進捗しています。また、アンケート結果は、次回講座の参考となるよう講座を実施した各大学や講師にも情報提供しています。					
改 善 の 方 策 等	市民の学習ニーズを把握するため、アンケートの回収率をあげるよう努めます。					

細 施 策	②市民が利用しやすい生涯学習情報の提供				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	A
施 策 の 内 容	生涯学習情報誌「マナビガイド」の発行や、ホームページやSNS等を活用した情報提供を行います。					
平 成 2 8 年 度 績 実	「マナビガイド」は、年間12回(毎月末)発行し、文化芸術振興課や市内公共施設に設置しました。また、川越市公式ホームページに掲載するとともに川越市ツイッター公式アカウントで、毎月新号の発行を周知しました。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	生涯学習情報誌マナビガイド配布箇所数(箇所)	46	45	46		
現 状 ・ 課 題	ウェスタ川越公共施設の開館に伴い、配布箇所数が増え、順調に進捗しています。					
改 善 の 方 策 等	「マナビガイド」に情報を掲載している公共施設等のうち、設置していない施設があるため、配布の協力を依頼するよう努めます。					

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(2) 市民の学習ニーズの把握及び生涯学習情報の充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①学習ニーズの把握	文化芸術振興課	A	A	A
	②市民が利用しやすい生涯学習情報の提供	文化芸術振興課	A		
学識経験者等 学意見	なし				

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進  
 【施策の柱】 (3)社会の変化に応じた学習機会の提供

細 施 策	①ライフステージにおける課題の学習				担当課	担当課評価
					中央公民館	A
施策の内容	乳幼児の心と体を育むことをねらいとした子育て講座等、生涯の各時期に生じる課題の学習活動の提供に取り組むとともに、さらなる学習機会の充実・提供に努めます。					
平成28年度実績	ライフステージにおける課題の学習の講座数164講座、参加者延べ人数37,727人					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	ライフステージにおける課題の学習の公民館主催事業参加者数	35,270	33,960	37,727		
現状・課題	講座の回数や参加者数は、増加傾向にありますが、これは、事業計画の組み換えにより、家庭教育の充実、子育て講座等をライフステージにおける課題の学習に移行していること等によるものです。					
改善の方策等	生涯の各時期に生じる課題を取り上げ、充実した学習機会を提供していきます。					

細 施 策	②現代的課題の学習							担当課	担当課評価
								中央公民館	C
施策の内容	社会的に要請されている環境学習、情報学習、人権学習等のような現代的課題の学習活動の提供に取り組むとともに、さらなる学習機会の充実・提供に努めます。								
平成28年度実績	現代的課題の学習の講座数103講座、参加者延べ人数7,609人								
指標・説明	【指標】 公民館主催事業の講座数及び講座参加者数				【説明】 公民館主催事業の講座数及び講座参加者延べ人数				
	単位	現在値 (H26)	実績値						目標値 (H32)
指標の推移	講座	128	H27 130	H28 103	H29	H30	H31	H32	130
	人	20,152	17,963	7,609					21,000
現状・課題	講座の回数や参加者数は、減少傾向にありますが、これは、事業計画の組み換えにより、家庭教育の充実、子育て講座等をライフステージにおける課題の学習に移行していること等によるものです。								
改善の方策等	日常生活と結びつく、身近な問題や課題を取り上げ、充実した学習機会の提供に努めます。								

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(3) 社会の変化に応じた学習機会の提供			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①ライフステージにおける課題の学習	中央公民館	A	B	B
	②現代的課題の学習	中央公民館	C		
学識経験者 意見等	現代的課題の学習については、地域社会において、今こういうことが重要な問題であるというものを常に入れ替えて提供していけるようにしたほうがよいと考える。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進  
 【施策の柱】 (4)人権施策の推進

細 施 策	①人権教育の充実				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育の一環として、児童生徒による人権作文・人権標語・人権絵画の取組を通して人権意識の高揚に努めます。</li> <li>・人権教育推進事業を公民館・小学校・中学校に委嘱するとともに、人権教育実践報告会やPTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会を実施し、同和問題などの人権問題の解決を目指します。</li> </ul>					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権文集「あけぼの」作成と文集を活用した授業の推進</li> <li>・人権絵画展「いのち・こころを大切に作る絵画展」の開催 3日間376人</li> <li>・人権作文発表(人権教育実践報告会)6人</li> <li>・「川越市の人権教育」の中に人権教育推進事業の委嘱館・委嘱校の実践や授業研究会の記録などを「人権教育実践収録」としてまとめました。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	人権作文・標語・絵画応募総数(点)	818	827	835		
	委嘱小・中学校数(校)	11	10	10		
現状・課題	<p>人権作文・標語・絵画については、優秀な作品を人権文集「あけぼの」に掲載し、人権教育啓発資料として活用できました。</p> <p>「川越市の人権教育」(人権教育実践集録)を人権教育推進資料として活用できたことなど、順調に進捗しています。</p>					
改善の方策等	更に公民館区で学校・家庭・地域が一体となって人権教育の充実に努めます。					

細 施 策	②人権啓発資料の活用				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	A
施策の内容	各種人権啓発資料を作成するとともに、児童生徒をはじめ市民に配布することで人権意識の高揚に努めます。					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越市PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会開催</li> <li>・人権文集「あけぼの」発行 3,150部</li> <li>・人権カレンダー発行 40,000部</li> <li>・川越市人権教育推進協議会広報紙「人権かわごえ」発行(年2回) 30,000部</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	川越市PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会参加者数(人)	242	222	228		
	人権カレンダー発行(部)	40,000	40,000	40,000		
現状・課題	<p>分科会では、活発な意見交換もあり、充実した時間を過ごすことができました。人権教育啓発資料の発行も確実に行われ多くの児童生徒、保護者、一般市民に活用していただいていることから、順調に進捗しています。</p>					
改善の方策等	今後も人権啓発資料の活用に努めます。					

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進  
 【施策の柱】 (4)人権施策の推進

細 施 策	③人権教育指導者の養成				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	A
施 策 の 内 容	家庭や職場、地域社会における人権問題の解決を目指して、PTA家庭教育学級の人権教育講座や公民館の人権教育指導者養成講座を開催し、身近な人権教育指導者の養成を図ります。					
平 成 2 8 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館における人権教育指導者養成講座の実施(17公民館で実施 97講座 参加者数3,845人)</li> <li>・小堤集会所事業:人権教育指導者養成講座の実施(5回 参加者数167人)</li> </ul>					
成 果 実 績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	公民館における人権教育指導者養成講座参加者数	3,775	3,844	3,845		
	小堤集会所事業:人権教育指導者養成講座参加者数	—	149	167		
現 状 ・ 課 題	公民館における人権教育指導者養成講座は、昨年度より参加者数が増加し、順調に進捗しています。					
改 善 の 方 策 等	人権教育講座担当者の確保や講座開設・募集等について検討していきます。指導者養成講座では、人権感覚育成プログラムを取り入れた体験型の講座やDVDなどの視聴覚教材を取り入れ話し合い型の講座など講演会だけでなく参加意欲を向上させるような内容を取り入れるなど、事業の充実に努めます。					

細 施 策	④関係機関・団体等との連携				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	A
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権意識の高揚と差別意識の解消のため、関係機関や団体等と連携した教育活動を推進します。</li> <li>・自治会等と連携した教育活動を推進し、地域内の交流を深めるとともに、学習の場としての集会所事業を推進します。</li> </ul>					
平 成 2 8 年 度 実 績	集会所事業として、青少年を対象に習字教室、フレンドスクールを実施(参加人数1227人)。成人対象で指導者養成講座、成人学習講座等を実施(参加人数431人)。女性対象で女性講座を実施(参加人数61人)。高齢者対象で高齢者学級講座を実施(参加人数101人)。集会所事業の成果発表の場としての集会所ふれあいあまつり開催(参加人数285人)。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	集会所事業 講座・教室参加者数(人)	2,471	2,865	2,836		
	ふれあいあまつり参加者数(人)	276	262	285		
現 状 ・ 課 題	各講座では参加者の固定化が目立ち参加者数は、ほぼ横ばいでしたが、フレンドスクールは、多くの子どもたちの参加があり、順調に進捗しています。					
改 善 の 方 策 等	今後も地域内の交流を更に深めるために自治会との連携を密にするとともに、集会所運営委員会、協力委員会で協議を重ね、事業内容等の充実に努めます。					

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(4) 人権施策の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①人権教育の充実	地域教育支援課	A	A	A
	②人権啓発資料の活用	地域教育支援課	A		
	③人権教育指導者の養成	地域教育支援課	A		
	④関係機関・団体等との連携	地域教育支援課	A		
学識経験者等 意見	<p>・人権教育については、SNSを使う中での誹謗・中傷のような問題について、研修の充実をさらに図っていただきたい。インターネットの活用の多様化が進んでいるため、保護者に対する講座等の充実も図っていただきたい。</p> <p>・人権教育指導者の養成については、ただ講義を聞くだけでなく、体験型や話し合い型のワークショップのようなかたちで進めることは、参加する意識を高めるのに非常に有効だと思うので、さらに充実を図っていただきたい。</p>				A

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進  
 【施策の柱】 (5)身近な学習施設の整備・運営

細 施 策	①公民館の設置				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	B
施策の内容	身近な学習施設としての公民館の建設を推進します。					
平成28年度実績	(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進:公民館新築工事実施設計業務委託の実施					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	設計業務委託契約の本数(件)	0	1	1		
	建設工事請負契約の本数(件)	0	0	0		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進:平成28年度は公民館新築工事実施設計業務委託を実施し、順調に進捗しています。</li> <li>・霞ヶ関北公民館整備推進:平成25年7月に建設検討懇話会から提言書が提出されましたが、平成28年度は予算確保に至らず、進捗があまり順調ではありません。</li> <li>・(仮称)西公民館建設推進:地元有識者によって地域の意見集約を図る建設検討懇話会は開催されず、進捗があまり順調ではありません。</li> </ul>					
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進については、平成29年度に本体工事を着工予定です。</li> <li>・霞ヶ関北公民館整備推進については、基本設計に向けての予算確保に努めるとともに、建設予定地の安全管理に努めてまいります。</li> <li>・(仮称)西公民館建設推進については、地元有識者による建設検討懇話会が開催されるよう助言協力をを行い、施設機能の検討を進めてまいります。</li> </ul>					

細 施 策	②既存公民館の整備・運営				担当課	担当課評価
					中央公民館	B
施策の内容	既存の公民館については、大規模改修工事等を計画的に実施し、利用しやすい学習施設となるよう整備運営に努めます。					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さわやか活動館外壁等改修工事、古谷公民館屋上防水等改修工事を実施しました。</li> <li>・全公民館からの修繕等要望件数48件のうち、修繕等実施件数は32件の実施です。</li> <li>・また、突発修繕を79件行っていますので、計111件の修繕等を実施しています。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	修繕要望件数の実施率(%)	23	47	67		
現状・課題	建築後30年以上の公民館が12館あり、予定外の突発修繕が多くなっています。					
改善の方策等	市民にとって、地域の身近な学習施設として利用されるよう努めます。					

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(5) 身近な学習施設の整備・運営			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①公民館の設置	地域教育支援課	B	B	B
	②既存公民館の整備・運営	中央公民館	B		
学識経験者等 意見	公民館の設置については、施設を丁寧に使うということも子どもたちの学習の一つであるので、子どもたちが集まることができるような施設として設置していただきたい。				B

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進  
 【施策の柱】 (6)市立図書館の充実

細 施 策	①図書館サービスの充実								担当課	担当課評価
									中央図書館	C
施策の内容	市民のさまざまなニーズに対応した図書館サービスの向上を図る取組を推進します。また、図書館利用に障害のある人に配慮した図書館サービスに努めます。									
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度は、本・雑誌・AV(視聴覚)資料の貸し出しを1,803,754冊行いました。</li> <li>障害者サービスでは、録音図書(3,362タイトル)や点字図書(67タイトル)の貸し出しを行いました。</li> </ul>									
指標及び説明	【指標】 図書館の貸出冊数					【説明】 市立図書館の本・雑誌・AV資料の貸出総数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値						目標値 (H32)	
			H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	冊	1,845,426	1,848,799	1,803,754					1,950,000	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸出冊数の総数実績値が、平成27年度実績値と比較して2%減っているため、進捗はあまり順調ではありません。</li> <li>録音図書は、平成27年度(2,267タイトル)と比較して約48%増えています。また、点字図書は、平成27年度(68タイトル)とほぼ同数です。</li> </ul>									
改善の方策等	市民のさまざまなニーズに対応した、多面的な観点からの資料の提供を推進します。また、図書館利用に障害のある人に配慮した図書館サービスのPRに努めます。									

細 施 策	②図書館資料・情報提供サービス機能の充実								担当課	担当課評価
									中央図書館	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な市民要望に応えるため、充実した図書館サービスを実施する上で必要となる各分野の資料収集に努めます。</li> <li>市民の学習・研究活動支援の充実を図るため、他の図書館等との連携や情報の提供サービス機能の充実に努めます。</li> </ul>									
平成28年度実績	蔵書数は中央図書館が497,927冊、西図書館が170,614冊、川越駅東口図書館が74,399冊、高階図書館が109,968冊で合計では852,908冊です。									
指標及び説明	【指標】 図書館の蔵書数					【説明】 市立図書館の蔵書総数(視聴覚資料含むが、新聞・雑誌は除外)				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値						目標値 (H32)	
			H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	冊	836,315	843,893	852,908					860,000	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度実績は、852,908冊で、平成28年度想定目標値を達成しており、順調に進捗しています。</li> <li>今後、中央図書館の収蔵能力を拡充するためには、収蔵場所の確保が問題となっています。</li> </ul>									
改善の方策等	4館が連携し、引き続き、蔵書の充実とともに、資料の収蔵能力を拡充するため、中央図書館の書架増設等について検討していきます。									

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進  
 【施策の柱】 (6)市立図書館の充実

細 施 策	③図書館を活用した学習活動の推進							担当課	担当課評価
								中央図書館	A
施 策 の 内 容	幅広い世代で構成される市民の、多様な学習活動に即した講座や講演会等の事業を推進します。								
平 成 2 8 年 度 績 実	乳幼児から児童を対象とした各種おはなし会や、絵本作家による講演会、郷土資料を活用した講座、バリアフリー映画会などを開催しました。								
指 標 及 び 説 明	【指標】 図書館の事業開催回数				【説明】 各種おはなし会や講演会など市立図書館が主催する図書館を活用した事業の開催回数				
	指 標 の 推 移	単 位	現 在 値 (H26)	実 績 値				目 標 値 (H32)	
	回	456	H27 472	H28 479	H29	H30	H31	H32	470
現 状 ・ 課 題	乳幼児から児童を対象とした各種おはなし会や、郷土資料を活用した博物館との共催事業、バリアフリー映画会などを開催し、実績は順調です。								
改 善 の 方 策 等	引き続き多様な学習活動に即した講座や講演会等の事業を開催します。								

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進

施 策 の 柱	(6)市立図書館の充実				
施 策 評 価	細 施 策	担 当 課	施 策 評 価		総 合 評 価
			細 施 策	施 策 の 柱	
	①図書館サービスの充実	中央図書館	C	A	
	②図書館資料・情報提供サービス機能の充実	中央図書館	A		
③図書館を活用した学習活動の推進	中央図書館	A			
学 識 経 験 者 等 意 見	図書館を活用した学習活動の推進については、質の高い、楽しい講座を実施されていると思うが、それがきっかけで本を好きになる子どもも多いと思うので、さらに質の高い色々な講座を開催していただきたい。				A

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進  
 【施策の柱】 (7)博物館の整備・充実

細 施 策	①展示機能の充実							担当課	担当課評価
								博物館	C
施策の内容	常設展示の見直しを検討し、新たな学術的成果やより学びやすい展示手法を展示に反映できるよう研究を進め、展示機能の充実を図ります。								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示室の見直しについては、職員間で討議を進めました。</li> <li>・展示として、第2回川越の指定文化財展「未来に受け継ぐ、郷土の宝物」、「平成28年度新作名刀展－現代の刀工と刀職－」、第43回企画展「城下町川越の町人世界」、第44回企画展「蔵・倉・くら－蔵造りと川越の町並みを知ろう－」を開催しました。</li> <li>・博物館の入館者数は96,516人で、前年度に比べて1,509人(約1.5%)の減少となりました。</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 博物館の入館者数				【説明】 博物館の年間入館者数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	人	98,205	98,025	96,516				100,000	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示室の見直しについては、職員間で展示内容等の具体的な検討を進めておりますが、事業着手時期が定まらない等の課題があります。</li> <li>・年間入館者数については、前年に比べやや減少しました。</li> </ul>								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示の見直しについては、具体的な検討を引き続き継続し、今後、スムーズに設計・工事へ移行できるように準備を進めます。</li> <li>・企画展等の内容については、市民の関心・興味を把握し、時機を見据えたテーマが設定できるよう工夫していきます。また、他団体等との共催・共同企画も積極的に進めます。</li> </ul>								

細 施 策	②郷土資料の収集・保存							担当課	担当課評価
								博物館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越の歴史と文化に係る資料収集に努めるとともに、その保存と活用を図ります。</li> <li>・資料を保存する収蔵庫については、収蔵能力が不足しているため、効率的な収蔵保管に努めるとともに、新たな収蔵施設の確保を検討します。</li> </ul>								
平成28年度実績	平成28年度は購入資料1点、寄贈資料168点を受け入れ、館蔵資料の累計が37,985点となりました。また、市内の個人から寄託された地域関係資料を整理し、「下広谷地区自治会保有文書目録」「川越喜多町名主御用日記(二)」「川越藩松平大和守家記録(二)」を作成しました。								
指標及び説明	【指標】 博物館の収蔵資料点数				【説明】 博物館収蔵資料の累計点数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	点	37,746	37,816	37,985				40,000	
現状・課題	収蔵資料については、収蔵スペースが不足しているため大型民具に限って制限していますが、全体として着実に増加しています。また、収蔵品展等を開催し寄贈資料の公開を行い、積極的な活用に向けているため、おおむね順調に進捗しています。								
改善の方策等	郷土資料は、現地保存ができない場合には博物館で寄贈・寄託により受け入れる必要があります。引き続き効率的な収蔵に努めるとともに、新たな収蔵スペースの検討を進めます。貴重な資料については、購入できない場合、寄託による収集を積極的に進めます。								

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進  
 【施策の柱】 (7)博物館の整備・充実

細 施 策	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化							担当課	担当課評価
								博物館	B
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の多様な学習要求に対応できるよう、講座・教室など教育普及事業の充実を図ります。</li> <li>小・中学校等との連携を進め、学校の教育課程に位置付けた博物館活用の充実を図ります。</li> </ul>								
平 成 2 8 年 度 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>大人向け事業の参加者数は1,974人で、満足度は91.0%、子ども向け事業は1,566人で、満足度は95.2%でした。</li> <li>教育活動の一環として博物館を利用した学校は、市内延べ90校、8,102人、市外286校、25,174人で、総計376校、33,276人でした。</li> </ul>								
指 標 及 び 説 明	【指標】				【説明】				
	①博物館講座・教室受講満足度 ②教育課程に位置付けた博物館活用の学校数				①受講者アンケートにおいて「大変よかった」及び「よかった」と回答のあった割合 ②小・中学校等の博物館活用の年間学校数				
指 標 の 推 移	単 位	現 在 値 (H26)	実 績 値					目 標 値 (H32)	
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	① %	95.3	95.1	93.1					97.0
	② 校	358	354	376					370
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座、教室については、前年度のアンケート結果や反省点等を考慮し、改善を進めながら実施していますが、参加者の満足度はまだ目標値には達していません。</li> <li>学校利用については、市内をはじめ、市外においても博物館活用が順調になされており、昨年より22校増加し、目標値を越え順調に進捗しています。</li> </ul>								
改 善 の 方 策 等	各種事業では応募者が定員を上回り、参加された方の満足度も9割以上を維持していますが、今後も引き続き市民ニーズに配慮しながら、魅力ある内容を企画し、併せて広報活動の充実を図ります。								

細 施 策	④博物館・蔵造り資料館の整備							担当課	担当課評価
								博物館	B
施 策 の 内 容	社会教育施設、文化財及び観光拠点施設としての機能を充実させるため、博物館・蔵造り資料館の整備を図ります。								
平 成 2 8 年 度 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館については、主に老朽化に伴う施設修理(非常放送設備、屋根谷板金等)を行い、博物館機能を維持するため整備に努めました。</li> <li>蔵造り資料館につきましては、平成26年度より耐震化事業に取り組んでおりますが、平成28年度は耐震化工事の入札を行いました。</li> </ul>								
成 果 実 績	項目名(単位)		H26	H27	H28				
	施設・設備の修繕件数(件)		31	20	18				
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館については、機能を維持するための応急的な修繕を実施してきました。未だ老朽・損朽による修繕必要箇所を多く抱えていますが、徐々に改善されており、おおむね順調に進捗しています。</li> <li>蔵造り資料館については、耐震化工事の入札を行い、契約に至りませんでした。なお、おおむね順調に進捗しています。</li> </ul>								
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館の機能を十分に発揮するためには、施設の適切な維持が必要なため、老朽化が著しい箇所から順次修理を進めます。</li> <li>蔵造り資料館につきましては、平成26年度よりはじまった耐震化事業を進めます。</li> </ul>								

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(7) 博物館の整備・充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①展示機能の充実	博物館	C	B	B
	②郷土資料の収集・保存	博物館	B		
	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	博物館	B		
	④博物館・蔵造り資料館の整備	博物館	B		
学識経験者等 意見	<p>・展示機能の充実については、新しい展示手法などが出てきているので、できるだけ早いうちに常設展示の改修について計画していただきたい。</p> <p>・展示機能の充実という部分において、企画展の図録の作り方について今後とも工夫していただきたい。</p> <p>・教育普及事業の充実と学校教育との連携強化について、市内外から来館する学校への対応は、限られた職員だけではなく、学校と連携しながらボランティアの活用をさらに進めていただきたい。</p>			B	

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進  
 【施策の柱】 (8)高等教育機関との連携の推進

細 施 策	①高等教育機関との連携体制の充実				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会の発展と人材育成に寄与するため連携体制を整えます。</li> <li>・教育、文化、まちづくり等の分野において市内の大学等と協力します。</li> </ul>					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度新たに、健康増進に関する事業を通じて連携を図るため、坂戸市にある女子栄養大学と包括協定を締結しました。</li> <li>・川越市と大学との連携に関する基本協定に基づき、大学のもつ研究・教育機能との連携を進めるため、連携会議を開催しました。(東洋大学2回33課所、東邦音楽大学1回13課所、女子栄養大学1回13課所)</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	川越市の連携会議参加課所数(延べ)	32	36	59		
現状・課題	平成27年度までは、東洋大学のみと連携会議を開催していましたが、28年度には新たに東邦音楽大学、女子栄養大学とも開催しました。「川越市と女子栄養大学との連携・協力に関する包括協定」を締結したこともあり、順調に進捗しています。					
改善の方策等	連携会議の開催を進める等、各大学と連携を密にし、大学との連携体制の充実に努めます。					

細 施 策	②共催による講座等の充実							担当課	担当課評価
								文化芸術振興課	B
施策の内容	市内4大学との連携により、各大学の特徴を生かした講座を開催し、高度で体系的な生涯学習の機会の拡充を図ります。								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内4大学と連携講座を実施し、193人の参加がありました。</li> <li>・東洋大学「グローバル化とスポーツ～オリンピック・パラリンピックを迎えて～(5回)」受講者33人</li> <li>・東邦音楽大学「オペラの魅力を伝える(3回)」受講者107人</li> <li>・東京国際大学「TPPと市民生活への影響を考える(1回)」受講者31人</li> <li>・尚美学園大学「文化資源を活用する(3回)」受講者22人</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 川越大学間連携講座の受講者数				【説明】 市内4大学との連携・協働による川越大学間連携講座の合計受講者数				
	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
指標の推移	人	251	H27 362	H28 193	H29	H30	H31	H32	280
現状・課題	平成24年度から市内4大学との連携講座として実施しています。平成27年度は1大学との開催ができませんでしたが、平成28年度は4大学と実施することができました。講座開催日や内容により、受講者数にばらつきがあります。								
改善の方策等	引き続き、市内4大学と連携し、連携講座の実施と講座内容の充実に努めます。								

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(8) 高等教育機関との連携の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①高等教育機関との連携体制の充実	文化芸術振興課	A	A	A
	②共催による講座等の充実	文化芸術振興課	B		
学識経験者等 意見等	共催による講座等の充実については、いつも参加していただいている方だけではなく、より多くの方に参加していただけるような方策を立てる必要があると考える。				

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実  
 【施策の柱】 (1)文化財の保護

細 施 策	①文化財指定等による保護				担当課		担当課評価			
					文化財保護課		B			
施策の内容	<p>・私たちの貴重な歴史的財産である文化財を後世に残し、伝えていくために、文化財調査等の実施を通して隠れた貴重な文化財を見だし指定します。</p> <p>・市内に点在する遺跡を埋蔵文化財包蔵地に指定し、包蔵地内で開発工事が行われる際は試掘調査により埋蔵文化財の有無を確認し、確認された場合には工事計画により発掘調査をして記録保存します。</p>									
平成28年度実績	<p>・指定文化財数265件</p> <p>・埋蔵文化財調査件数 発掘調査件数:5件(前年度比125%)          試掘調査件数:92件(前年度比111%)</p> <p>・その他文化財調査件数 13件(前年度比118%)</p>									
成果実績	項目名(単位)				H26		H27		H28	
	文化財調査件数(件)				12		11		13	
指標及び説明	【指標】 文化財数				【説明】 市・県・国指定等文化財数					
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)		
			H27	H28	H29	H30	H31		H32	
	件	264	266	265					276	
現状・課題	<p>重要文化財の太刀1口が売買により川越市から転出したため、達成率が下がりましたが、埋蔵文化財の発掘調査は前年比125%、試掘件数は111%に増加しました。また、その他の文化財調査件数も118%に増加しました。</p>									
改善の方策等	<p>文化財指定については、昨年度行った文化財調査をさらに継続して精査するとともに、文化財保護審議会に上がった新指定文化財候補について新たに調査を始めます。</p>									

細 施 策	②文化財保護意識の啓発				担当課		担当課評価			
					文化財保護課		B			
施策の内容	<p>国民の財産である文化財の価値を市民に知らせ理解を深めてもらうために、文化財保護意識の啓発に努めます。</p>									
平成28年度実績	<p>・遺跡発表会参加者数:60人(前年度比:87%)</p> <p>・文化財防火訓練参加者数:115人(前年度比:100%)</p> <p>・職員の講師派遣件数:16件(前年度比:400%)</p> <p>・川越氷川祭の山車行事ユネスコ無形文化遺産登録記念式典(来場者:18,600人)</p>									
成果実績	項目名(単位)				H26		H27		H28	
	遺跡発表会参加者数(人)				52		69		60	
	職員の講師派遣件数(件)				18		4		16	
現状・課題	<p>毎年行われる遺跡発表会・文化財防火訓練などの参加者は、ほぼ横ばいで推移しています。その他、発掘調査に伴う山王塚古墳の現場説明会や川越氷川祭の山車行事がユネスコ無形文化遺産に登録されたことに伴う記念式典を行うなど、保護意識の啓発に努めました。</p>									
改善の方策等	<p>毎年行われる啓発行事をさらに充実させるとともに、公民館や学校教育への講師派遣に努めていきます。</p>									

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実  
 【施策の柱】 (1)文化財の保護

細 施 策	③無形民俗文化財の保存と後継者の育成			担当課	担当課評価
				文化財保護課	C
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無形民俗文化財を地域ぐるみで保存継承する体制の確立を支援協力します。</li> <li>・後継者育成を積極的に支援します。</li> </ul>				
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗文化財保存修理件数:3件(前年度比50%)</li> <li>・後継者養成事業実施団体数:15団体(前年度比94%)</li> </ul>				
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28	
	民俗文化財保存修理件数(件)	3	6	3	
	後継者養成事業実施団体数(件)	16	16	15	
現状・課題	<p>指定文化財については、後継者育成のためや使用する道具の修理などに補助金を支出し、支援しています。現在、地域の伝統的な祭や芸能の継承は、ますます困難な状況にあるという認識です。地域の繋がりが希薄になり、伝承者の高齢化や少子化などの問題があります。</p>				
改善の方策等	<p>今後保存団体にアンケートを取るなどして現状を把握し、その後、保存団体に事情聴取し、個々の保存団体に寄り添った支援を行っていきます。</p>				

細 施 策	④有形文化財の保存と活用			担当課	担当課評価
				文化財保護課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定されている有形文化財の維持管理を継続的に行い、その保存に努めます。</li> <li>・博物館や関係各課と連携し、その活用を図ります。</li> </ul>				
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財保存事業実施件数:25件(前年度比86%)</li> <li>・永島家住宅(旧武家屋敷)の見学者数:2,227人(前年度比130%)</li> <li>・埋蔵文化財出土品貸出件数 13件(前年度比118%)</li> </ul>				
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28	
	指定文化財保存事業実施件数(件)	25	29	25	
現状・課題	<p>有形文化財の所有者・管理者と協力して、文化財の適切な維持管理と文化財の価値を下げないよう保存修理事業を実施し、公開に努めています。経年劣化や台風等自然災害が原因で保存修理事業が必要になるため、課の予算額を一定にすることが難しいという課題があります。</p>				
改善の方策等	<p>永島家住宅(旧武家屋敷)については、平成29年度より毎月1回から毎週土曜日に公開日を増やします。また、市制施行100周年記念「川越市の文化財」改訂事業を始める予定です。これにより、すべての指定文化財の現況を把握するカルテを作成するため、長期的な保存修理事業を計画できます。</p>				

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実  
 【施策の柱】 (1)文化財の保護

細 施 策	⑤重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実							担当課	担当課評価
								都市景観課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的建造物の保存修理など必要な事業を実施し、あわせて保存技術の継承や後継者の育成に努めます。</li> <li>・伝統的建造物の耐震化や自主防災体制の整備を検討します。</li> </ul>								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存修理事業(国庫補助対象)／一萬田家住宅主屋:屋根葺き替え、外壁張り替え等 栗生田家住宅主屋:外観復原、構造補強等 細田家住宅主屋:屋根葺き替え</li> <li>・地区の啓発パンフレット作成／伝建地区の概要、伝統的建造物MAP、修理・修景等事例、創作看板</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 伝統的建造物の修理件数				【説明】 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業における大規模な修理事業の累計件数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実 績 値					目標値 (H32)	
	件	57	H27 61	H28 64	H29	H30	H31	H32	76
現状・課題	<p>伝統的建造物所有者の修理要望の把握及び保存対策調査を計画的に実施したことにより、修理件数累計が想定目標値を上回っており、順調に進捗しています。</p>								
改善の方策等	<p>保存修理事業を計画的に実施していくため、引き続き伝統的建造物所有者の意向把握や保存対策調査による現状把握に努めます。また、補助金の財源確保のため文化庁等との連絡調整に努めます。</p>								

細 施 策	⑥河越館跡の整備・活用				担当課	担当課評価
					文化財保護課	B
施策の内容	郷土学習の場、市民の憩いの場として国指定史跡河越館跡史跡公園等の整備を継続し、市民や自治会等の公共団体、NPO法人、大学等と協働してその有効活用を図ります。					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河越館跡史跡公園(未整備地を含む)の活用を目的としたイベントを文化財・歴史の理解を前提とした内容で企画・実施しました。(1件)</li> <li>・未取得地の買収に向けて、地権者と協議しました。(6回)</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	河越館跡地の史跡公園整備率(%)	30.4	30.4	30.4		
	河越流鏑馬見学者数(人)	3,600	1,900	4,500		
現状・課題	<p>河越流鏑馬の見学者は増加しており、河越館跡を周知するという目標は達成されています。新たな活用メニューの検討が今後の課題となります。また、未取得地の買収については、今後も地権者と協議を重ねていく必要があります。</p>					
改善の方策等	<p>河越流鏑馬を含む活用事業の見直し、用地買収に関わる地権者との協議及び整備計画の検討を行います。</p>					

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実  
 【施策の柱】 (1)文化財の保護

細 施 策	⑦山王塚古墳の整備				担当課	担当課評価
					文化財保護課	B
施策の内容	国内で最大規模の上円下方墳である山王塚古墳について、未来に伝えるべき貴重な文化財として、国指定史跡とすることを目指します。					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>山王塚古墳の範囲確認及び横穴式石室の遺存状態確認のため、周溝及び墳丘に5本のトレンチ(発掘杭)を設定し、発掘調査を実施しました。</li> <li>一辺約100mの上円下方墳であることが確認されるとともに、出土土器から7世紀後半に造られたことが判明しました。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	川越市山王塚古墳調査検討委員会開催数(回)	1	2	2		
	山王塚古墳現地説明会見学者数(人)	0	388	120		
現状・課題	国指定史跡を文化庁に意見具申するための前提となる発掘調査については、おおむね順調に進捗し、古墳の規模や構築年代等が明らかとなっています。今後発掘調査から山王塚古墳の価値について多面的に論じた、国に提出する総括報告書の作成が必要になります。					
改善の方策等	発掘調査の出土品、図面整理を速やかに行い、総括報告書を刊行します。					

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施策の柱	(1)文化財の保護				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①文化財指定等による保護	文化財保護課	B	B	B
	②文化財保護意識の啓発	文化財保護課	B		
	③無形民俗文化財の保存と後継者の育成	文化財保護課	C		
	④有形文化財の保存と活用	文化財保護課	B		
	⑤重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実	都市景観課	A		
	⑥河越館跡の整備・活用	文化財保護課	B		
	⑦山王塚古墳の整備	文化財保護課	B		
学識経験者等意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>永島家住宅については、無料公開によりたくさんの方に見ていただけたと思うが、観光ルートの一つとして楽しめるように更に整備していただきたい。</li> <li>伝統的建造物群保存地区については、川越の文化財の柱のようなものだと思うので、今後も支障の無いように保存整備事業を進めていただきたい。</li> </ul>				

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実  
 【施策の柱】 (2)文化芸術の振興

細 施 策	①連携・協働による新たな文化芸術の創造							担当課	担当課評価
								文化芸術振興課	A
施策の内容	市民、市民団体、NPO法人、企業、大学等との連携や協働により、文化芸術の振興を図るとともに、相互の交流等を通じて、地域の魅力づくりとなる新たな文化芸術の創出に努めます。								
平成28年度実績	市民や市民団体等と連携・協働し、①川越市民文化祭、②川越市総合文化祭、③2音大クラシック・コンサート、④川越市美術展覧会、⑤大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル、⑥小江戸川越第九の会 第九演奏会、⑦高校生小説大賞、⑧文芸川越の発行、⑨囲碁棋聖戦等の文化芸術事業を実施しました。								
指標及び説明	【指標】 協働による文化芸術事業件数				【説明】 文化芸術団体等との協働による文化芸術事業件数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
	件	7	H27 8	H28 9	H29	H30	H31	H32	10
現状・課題	文化芸術団体をはじめ、高校・大学等学校や各種団体との連携・協働により、文化芸術事業を実施しています。恒例となり市内外への周知が図られてきている事業も多く、順調に進捗しています。								
改善の方策等	文化芸術団体や学校、各種団体等と連携・協働するとともに、本市の有する資源を活用した新たな文化芸術事業の創出に努めます。								

細 施 策	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	A
施策の内容	高校や大学との連携事業を推進するなど、若い世代が文化芸術事業に参加・活動しやすい環境を整えます。					
平成28年度実績	①尚美学園大学、東邦音楽大学と連携して、「2音大クラシック・コンサート」を開催しました。 ②「高校生小説大賞」を実施しました(平成27年度から当課で実施)。 ③「川越市美術展覧会」の出品手数料に学生料金を設定するとともに、学生奨励賞を設けました(平成26年度から)。					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	2音大クラシック・コンサートの入場者数	445	856	1,113		
現状・課題	①2音大クラシック・コンサートは、2大学の協力とともに、低廉な入場料設定や高校生以下の招待を行うなどにより、入場者数が順調に伸長しています。 ②高校生小説大賞は、年度により応募作品数に増減がありますが、おおむね順調に進捗しています。 ③川越市美術展覧会は、学生の出品点数が増加しており、順調に進捗しています。					
改善の方策等	引き続き、若い世代が気軽に良質な文化芸術に触れる機会を提供するため、企画内容や料金設定などを通して、より参加しやすい環境づくりに努めます。					

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施策の柱		(2) 文化芸術の振興			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①連携・協働による新たな文化芸術の創造	文化芸術振興課	A	A	A
	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり	文化芸術振興課	A		
学識経験者等 学意 見 者 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校や大学との連携事業については、学生たちの発表の場としてとてもよい取組だと思えるので、充実を図っていただきたい。</li> <li>・若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくりについては、新しい文化を造り、継承するため、現在実施している事業だけでなく、もう少し参加しやすく興味を持ってもらいやすい事業も考えていただきたい。</li> </ul>				A

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実  
 【施策の柱】 (3)文化芸術に触れる機会づくり

細 施 策	①文化芸術が身近にある環境づくり				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の文化芸術への関心や理解を深めるため、良質な文化芸術の鑑賞機会を提供します。</li> <li>市民が身近なところで、気軽に文化芸術に触れることができるよう、インターネットやSNS等を活用し、わかりやすく、魅力ある情報の提供に努めます。</li> </ul>					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウェスタ川越大ホール等において、指定管理者がオーケストラ公演などの鑑賞事業や、市民参加型演奏会・講習会などの普及・参加・交流事業を、提案事業として実施しました。</li> <li>市の主催事業をはじめとする文化芸術のイベント・講座情報を、「市内文化施設イベント情報」(市HP)や「文化芸術メール」(小江戸川越メール配信サービス)により発信しました。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	文化芸術振興施設提案事業満足度(%)	—	—	96.5		
	文化芸術メール配信数(件)	—	108	294		
現状・課題	文化芸術振興施設提案事業満足度も高く、文化芸術メール配信数も増えており、順調に進捗しています。					
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズを事業の企画に反映するなど、引き続き良質な文化芸術の鑑賞機会の提供に努めます。</li> <li>文化芸術メールを積極的に活用し、文化芸術のイベント・講座情報の一層の提供に努めます。</li> </ul>					

細 施 策	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	A
施策の内容	次代を担う子どもたちが、文化芸術を鑑賞し、学ぶことのできる機会の充実を図ります。					
平成28年度実績	「子どもの文化芸術体験事業～アウトリーチ～」として、小学校7校にアーティストを派遣し、使用楽器や演奏曲の説明を交えた演奏会を実施しました。					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	アウトリーチ実施校数(校)	—	5	7		
現状・課題	アウトリーチ実施校数は、増えており、順調に進捗しています。					
改善の方策等	アウトリーチを行う人材の発掘に努めます。					

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施策の柱		(3) 文化芸術に触れる機会づくり			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①文化芸術が身近にある環境づくり	文化芸術振興課	A	A	A
	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり	文化芸術振興課	A		
学識経験者等 意見	子どもの文化芸術体験事業～アウトリーチ～と人材発掘オーディションについては面白い取組なので、拡充していただきたい。				

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実  
 【施策の柱】 (4)文化芸術活動への支援と文化交流の促進

細 施 策	①文化芸術活動への支援				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術活動を行う市民の発表機会の充実を図ります。</li> <li>・文化芸術分野で功績のある人や振興に寄与した人への顕彰を行い、市民の文化芸術活動を支援します。</li> </ul>					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民文化祭や川越市総合文化祭、川越市美術展覧会等を開催するとともに、文芸川越を刊行しました。</li> <li>・文化スポーツ顕彰のうち、文化賞は該当者なしでした。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	市民文化祭の事業数(件)	26	27	27		
現状・課題	市民文化祭については、事業数は横ばいで、順調に進捗しています。一方、参加者は高齢者が多く、減少する傾向にあります。					
改善の方策等	若い世代にも興味を持ってもらうため、ホームページやメール配信サービス、ツイッター等の媒体を活用した情報の周知などに努めます。					

細 施 策	②文化芸術活動の場の整備				担当課	担当課評価		
					文化芸術振興課	B		
施策の内容	市民の芸術鑑賞や活動・発表の場である文化施設やウェスタ川越大ホール等の適切な運営管理を図ります。							
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェスタ川越大ホールの稼働率は、順調に伸展しています。</li> <li>・やまぶき会館・西文化会館・南文化会館・川越駅東口多目的ホールの利用者数は、施設により増・減それぞれを示しています。</li> </ul>							
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28				
	ウェスタ川越大ホール区分稼働率(%)	—	59.3	71.5				
指標及び説明	【指標】 文化施設の利用者数		【説明】 やまぶき会館・西文化会館・南文化会館・川越駅東口多目的ホールの利用者数					
指標の推移	単位	現在値(H26)	実績値				目標値(H32)	
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	人	311,899	309,023	301,354				321,000
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化施設の利用者は減少していますが、ウェスタ川越大ホールの区分稼働率は順調に伸びていることから、おおむね順調に推移しています。</li> <li>・やまぶき会館・西文化会館・南文化会館・川越駅東口多目的ホールについては、老朽化への対応が必要です。</li> </ul>							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化施設の利用者数が増加するよう、施設の利用促進に努めます。</li> <li>・老朽化した文化施設について、計画的な改修に努めます。</li> </ul>							

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実  
 【施策の柱】 (4)文化芸術活動への支援と文化交流の促進

細 施 策	③文化交流の促進			担当課	担当課評価
				文化芸術振興課	A
施 策 の 内 容	文化芸術関係団体相互の交流を促進し、ネットワークの充実を図ります。				
平 成 2 8 年 度 績 実	川越市総合文化祭は平成27年度から開催していますが、平成28年度は初年度を上回る団体数の参加がありました。				
成 果 実 績	項目名(単位)	H26	H27	H28	
	総合文化祭参加団体数	—	37	43	
現 状 ・ 課 題	平成28年度は初年度を上回る団体数の参加があり、順調に進捗しています。				
改 善 の 方 策 等	関係団体と連携し、多数・多様な団体の参加・交流を促し、参加者数の増加に努めます。				

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施 策 の 柱	(4)文化芸術活動への支援と文化交流の促進				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①文化芸術活動への支援	文化芸術振興課	B	B	
	②文化芸術活動の場の整備	文化芸術振興課	B		
③文化交流の促進	文化芸術振興課	A			
学 識 経 験 者 等 意 見	ウエスタ川越の大ホールについては、稼働率が高い状況が続くように運営していただきたい。				B

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実  
 【施策の柱】 (5)美術館の充実

細 施 策	①展覧会等の充実							担当課	担当課評価
								美術館	A
施策の内容	市民が親しみやすい展覧会の実施や体験型のイベント等を企画し、市立美術館の利用機会の向上を図ります。								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展(常設展示室、相原求一朗記念室)については、年4回の展示替えを行いました。また、タッチアートコーナーについても、年4回開催しました。※(春)高須賀昌志展、(夏)収蔵品から、(秋)西村文男展、(冬)小日向千秋展</li> <li>・特別展については、年4回開催しました。※(春)黄金期の浮世絵 歌麿とその時代、(夏)川島清 彫刻の黙示 路傍 淵 水量、(秋)池田幹雄×滝沢具幸、(冬)招き猫亭コレクション 猫まみれ展</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 ①美術館の常設展観覧者数 ②美術館の特別展観覧者数				【説明】 ①常設展年間観覧者数 ②特別展年間観覧者数				
指標の推移	単位	現在値(H26)	実績値					目標値(H32)	
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	① 人	38,934	33,269	41,917					39,000
② 人	28,718	23,653	27,819					30,000	
現状・課題	昨年度と比べ常設展の実績値が目標値を上回り、特別展の実績値も昨年度に比べ増えており、順調に進捗しています。								
改善の方策等	引き続き子どもから高齢者まで、幅広い世代が年間を通じて、美術を楽しむことができる展覧会の開催に努めるとともに、広報川越、川越市立美術館ホームページ、メール配信サービス、ツイッター、プレスリリース、ちらし・ポスターの掲示等により広く周知を図ります。								

細 施 策	②創作活動・発表の場の提供				担当課	担当課評価
					美術館	B
施策の内容	創作活動や発表の場の提供を通じて、市民が芸術活動に参加する機会づくりに努めます。					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ギャラリーの年間稼働日数については、稼働日数263日／年間日数296日となっています。</li> <li>・創作室の年間稼働コマ数については、稼働コマ数272コマ／年間稼働コマ数888コマとなっています。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	市民ギャラリーの年間稼働日数(稼働日数／年間日数)	76.43%	81.54%	88.85%		
	創作室の年間稼働コマ数(稼働コマ数／年間コマ数)	32.55%	26.85%	30.63%		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ギャラリーの年間稼働日数については、おおむね順調に進捗しています。</li> <li>・創作室の年間稼働コマ数については、進捗があまり順調ではありません。特に、午後5時から午後8時30分までの時間帯の利用がありません。</li> </ul>					
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ギャラリーの利用については、さらに多くの団体が利用できるよう有効活用努めていきます。</li> <li>・創作室の利用については、新たな利用団体等を獲得すべく、川越市立美術館ホームページ等を通じて周知を図るとともに、現在利用している団体に対しても、夜間帯の利用も可能であることを説明し、さらに利用しやすい施設であることを周知していきます。</li> </ul>					

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実  
 【施策の柱】 (5)美術館の充実

細 施 策	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化							担当課	担当課評価
								美術館	A
施 策 の 内 容	学校教育と連携した教育普及活動を行うとともに、子どもたちが文化芸術活動を体験できる機会の充実に努めます。								
平 成 2 8 年 度 績 実	○教育普及事業 72事業 延参加者数20,010人 ・主に子ども(中学生以下)が参加できる事業 31事業 延参加者数15,334人 ・主に大人が参加できる事業 24事業 延参加者数3,747人 ・誰でも参加できる事業 9事業 延参加者数753人 ・教員向け事業 8事業 延参加者数176人 ○上記の内主な学校教育との連携事業 ・川越市立中学校美術部の祭典 出品生徒数269人 観覧者数1,111人 ・川越市立小学校6年生バス見学 31校 延参加者数2,967人 ・川越市内児童生徒作品展 3作品展 延観覧者数7,543人								
指 標 及 び 説 明	【指標】 川越市立中学校美術部の祭典の参加校数				【説明】 川越市立中学校美術部の祭典に参加した中学校数				
	指 標 の 推 移	単 位	現 在 値 (H26)	実 績 値				目 標 値 (H32)	
	校	20	H27 21	H28 20	H29	H30	H31	H32	22
現 状 ・ 課 題	川越市立中学校美術部の祭典の参加校については、昨年度に比べ1校減少していますが、多くの教育普及事業が実施できたので順調に進捗しています。								
改 善 の 方 策 等	引き続き各種事業を実施し、市民に広く発表することで美術教育に対する理解と認識を深めていきます。								

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施 策 の 柱	(5)美術館の充実				
施 策 評 価	細 施 策	担 当 課	施 策 評 価		総 合 評 価
			細 施 策	施 策 の 柱	
	① 展覧会等の充実	美術館	A	A	
	② 創作活動・発表の場の提供	美術館	B		
③ 教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	美術館	A			
学 識 経 験 者 意 見 等	・展覧会については、美術館のスタッフの方たちだけで企画を構築していくことが一番良いと思うが、質の高いパッケージも活用して、楽しめる展覧会を企画していただきたい。 ・教育普及事業について、博物館と併せての実施は時間的な制約があるため、美術館の意図を子どもたちに伝えられるように、単独での受け入れについても考えていただいたほうがよいと考える。				A

- 【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進  
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進  
 【施策の柱】 (1)誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくりの推進

細 施 策	①共生意識を醸成するための相互理解の推進							担当課	担当課評価
								国際文化交流課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生・国際交流を推進していくための拠点として、国際交流センターを活用し、外国籍市民と相互理解が深まるような事業の支援に努めます。</li> <li>・外国籍市民会議の開催や外国籍市民国際人材ネットの充実を図り、外国籍市民の活用や地域社会への参画を促進します。</li> </ul>								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ボランティアによる日本語教室「クラスで日本語」週9回 年間407回開催</li> <li>・市民ボランティアによる小中学生向けの「日本語教室」週1回、「学習支援教室」週1回開催</li> <li>・外国籍市民が講師となった国際理解講座開催「おもてなしベトナム語」全10回、「おもてなしタイ語」全7回</li> <li>・川越市日本中国友好協会の主催する中国語講座を共催全36回</li> <li>・外国籍市民会議全6回開催、外国籍市民国際人材ネット(K-net)登録者数38名</li> <li>・市民団体と連携した国際関係イベント開催(多文化交流、タイ救命救急講習会、高校進学相談)</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 外国籍市民と日本人市民との年間交流者数				【説明】 国際交流センターでの各種講座や姉妹都市との相互訪問などによる外国籍市民と日本人市民との年間交流者数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
	人	7,722	H27 8,555	H28 10,014	H29	H30	H31	H32	8,500
現状・課題	国際交流センターでの日本語教室、各種講座の開催、外国籍市民会議による意見交換、国際関係イベントなどを実施しました。外国籍市民と日本人市民との年間交流者数も増加しており、順調に進捗しています。								
改善の方策等	新たに国際交流センターのリーフレットを作成するなど、国際交流センターの周知を図り利用者増に努めます。								

細 施 策	②外国籍市民への支援							担当課	担当課評価
								国際文化交流課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍市民のための日本語教室や市民相談を充実させるとともに、多言語による案内表示や情報提供を実施することで、海外からの来訪者や外国籍市民にとって、訪れやすく住みやすいまちづくりを目指します。</li> <li>・市内大学の留学生を支援するとともに、卒業後に市内での就労を希望する留学生が、市内企業に就職できるような取組を検討します。</li> </ul>								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ボランティアによる日本語教室「クラスで日本語」週9回 年間407回開催</li> <li>・市民ボランティアによる小中学生向けの「日本語教室」週1回、「学習支援教室」週1回開催</li> <li>・生活相談(日本語・中国語)月2回、(日本語・ポルトガル語)月2回</li> <li>・法律相談月1回、在留資格相談月1回</li> <li>・広報川越英語版の発行、年間12回</li> <li>・家庭ごみの分け方・出し方リーフレットを7か国語で提供(前年度外国籍市民会議で検討、作成は資源循環推進課)</li> <li>・国際交流センター受付業務を留学生に依頼、外国籍市民会議委員として留学生が参加</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 外国籍市民の日本語教室への参加者数				【説明】 国際交流センターで実施する日本語教室への外国籍市民の参加者延べ人数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
	人	3,373	H27 3,604	H28 4,711	H29	H30	H31	H32	3,900
現状・課題	日本語教室、相談事業、情報提供など外国籍市民への支援事業を実施しました。外国籍市民の日本語教室への参加者数も増加しており、順調に進捗しています。留学生についての支援方法の検討が今後の課題です。								
改善の方策等	日本語教室等の周知を図り、参加者の増加に努めるとともに、留学生については市内大学と連携して支援方法を模索していきます。								

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進  
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱		(1) 誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくりの推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	① 共生意識を醸成するための相互理解の推進	国際文化交流課	A	A	A
	② 外国籍市民への支援	国際文化交流課	A		
学識経験者等	留学生については、アルバイトの関係で都内に住んでいることが多く、普段は川越市に触れる機会が少ないため、川越市民との交流が図れるような取組を行っていただきたい。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進  
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進  
 【施策の柱】 (2)国際感覚に優れた市民の育成

細 施 策	①人材の発掘と育成							担当課	担当課評価
								国際文化交流課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京オリンピックのゴルフ競技の本市での開催をきっかけに、市内大学等と連携を図りながら、各種講座や研修会を実施するなど、国際感覚に優れた市民の育成に努めます。</li> <li>・日本語ボランティア、通訳・翻訳ボランティアの活動を支援し、その活動を通じて、異文化への理解や相互扶助といったボランティア意識の向上に努めます。</li> </ul>								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語指導員養成講座を東京国際大学と連携して開催、全40回</li> <li>・外国籍市民が講師となった国際理解講座開催「おもてなしベトナム語」全10回、「おもてなしタイ語」全7回</li> <li>・川崎市日本中国友好協会の主催する中国語講座を共催、全36回</li> <li>・日本語ボランティア登録者数176名、通訳・翻訳ボランティア登録者数70名</li> <li>・日本語ボランティア登録者に対してレベルアップ講座の開催、全2回</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 国際交流センターでの人材育成講座の受講者数				【説明】 国際交流センターでの人材育成講座の年間延べ受講者数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	人	982	1,738	1,861					1,500
現状・課題	<p>日本語指導員養成講座、国際理解講座、中国語講座などの人材育成講座を実施しました。人材育成講座の受講者数も増加傾向にあり、順調に進捗しています。</p> <p>課題としては、要望の多い講座は抽選を行い絞り込みをするなど、市民ニーズに対応しきれていないことがあげられます。</p>								
改善の方策等	市民ニーズに対応できるよう講座募集者数を増やし、人材育成講座の受講者数の増加に努めます。								

細 施 策	②国際交流に関係する市民団体等との協力と連携							担当課	担当課評価
								国際文化交流課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流や国際協力に取り組む市民や市民団体と連携を取りながら、地域の国際化を推進していきます。</li> <li>・さまざまな交流事業の充実を図るため、市民や市民団体、行政などがそれぞれの役割を担うとともに、相互理解を図り、ネットワークの構築に努めます。</li> </ul>								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語ボランティア登録制度による日本語教室「クラスで日本語」を実施、年間開催数 407回</li> <li>・市民ボランティアによる小中学生向けの「日本語教室」週1回、「学習支援教室」週1回開催</li> <li>・通訳・翻訳ボランティア登録制度による連携事業を実施、年間活動数34件</li> <li>・外国籍市民ボランティア登録制度(外国籍市民国際人材ネット(K-net))による連携事業を実施、年間活動人数5名</li> <li>・国際化に貢献する市民団体等が行う事業に対して国際貢献事業補助金を交付 年間交付件数5件</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 ボランティア活動者数				【説明】 国際交流センターで実施する日本語教室、外国籍市民を支援するボランティア事業及び通訳・翻訳ボランティア、外国籍市民国際人材ネットのボランティア活動者延べ人数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	人	2,666	2,795	3,154					3,000
現状・課題	<p>日本語ボランティア、通訳・翻訳ボランティア、外国籍市民ボランティアとの連携事業や国際貢献事業補助金交付事業などを市民団体等と協力、連携し実施しました。ボランティア活動者数も増加しており順調に進捗しています。</p>								
改善の方策等	引き続きボランティアと連携して国際化を推進するため、日本語ボランティアとの意見交換会やレベルアップ研修会などのサポートの充実に努めます。								

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進  
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱		(2) 国際感覚に優れた市民の育成			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①人材の発掘と育成	国際文化交流課	A	A	A
	②国際交流に関する市民団体等との協力と連携	国際文化交流課	A		
学識経験者等 意見	なし				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進  
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進  
 【施策の柱】 (3)姉妹・友好都市交流の充実

細 施 策	①姉妹・友好都市との交流事業の充実	担当課		担当課評価
		国際文化交流課		A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越市姉妹都市交流委員会と連携し、多文化共生に向けた異文化への理解を図るため、より多くの市民が関わることができる交流事業の実施に努めます。</li> <li>・姉妹・友好都市との交流協力関係を深めるため、次世代を担う青少年の相互派遣事業については、関係機関とも連携しながら、事業内容の充実に図ります。</li> </ul>			
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹都市提携30周年記念セーレム市訪問川越市民号の派遣</li> <li>・中札内村訪問中学生交流団の派遣、中札内村中学生川越市訪問事業の受入</li> <li>・(オフエンバッハ市訪問中学生交流団は欧州の情勢不安により派遣中止)</li> <li>・姉妹校ノースセーレム高校生徒が市立川越高等学校を訪問(市立川越高等学校事業)</li> <li>・川越商工会議所とオフエンバッハ商工会議所の日独ビジネス研修生交換プログラムに協力</li> </ul>			
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28
	姉妹・友好都市交流件数(5年間の平均件数)	26.2	27.4	28.0
現状・課題	<p>海外姉妹都市への中学生派遣事業は情勢不安による派遣中止となりましたが、周年記念事業で市民号を派遣し、過去に中学生を受入れていただいたホストファミリーとの交流やフェスティバルへの参加などセーレム市民との交流事業を実施しました。姉妹・友好都市交流件数(5年間の平均件数)も増加しており、順調に進捗しています。</p>			
改善の方策等	引き続き姉妹都市との良好な関係を保てるよう、連絡調整を密にし、交流事業の充実に努めます。			

細 施 策	②さまざまな地域との新たな交流の創出	担当課		担当課評価
		国際文化交流課		A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍市民や留学生を通して、さまざまな国の文化や伝統について学ぶ機会を創出します。</li> <li>・姉妹・友好都市とは別に新たな地域との分野を特定した交流事業について検討するなど、市民にさらなる国際交流や異文化理解の場を提供していくよう努めていきます。</li> </ul>			
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越市日本中国友好協会の主催する中国語講座を共催(全36回)</li> <li>・外国籍市民が講師となった国際理解講座開催「おもてなしベトナム語」全10回、「おもてなしタイ語」全7回</li> <li>・さまざまな国の文化や伝統に関する国際関係イベントを支援(かわごえ国際交流フェスタ、コエドタイフェア、川越唐人揃いパレード、国際交流センターでの多文化交流イベントなど)</li> </ul>			
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28
	中国語講座受講者述べ人数	349	394	412
	国際関係イベント件数	2	3	4
現状・課題	<p>外国籍市民数が最も多い中国に関する講座を開催、ベトナム、タイの国際理解講座開催、さまざまな国の文化や伝統に関する国際関係イベントを支援しました。中国語講座受講者延べ人数や国際関係イベント件数は増加しており、順調に進捗しています。</p>			
改善の方策等	市民等と連携した国際関係イベント等の開催を支援し、さまざまな国の文化や伝統について学ぶ機会のさらなる創出に努めます。			

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進  
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱		(3) 姉妹・友好都市交流の充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	① 姉妹・友好都市との交流事業の充実	国際文化交流課	A	A	A
	② さまざまな地域との新たな交流の創出	国際文化交流課	A		
学識経験者等 意見	<p>海外姉妹都市訪問中学生交流団の派遣については、子どもたちから外国との交流を行うことで国際感覚が養われ、外国に対する理解や積極性や考え方が違ってくるので、安全が一番であるが、情勢を把握しながら、このような機会の充実を図っていただきたい。</p>				

【方向性】 V－生涯スポーツの推進  
 【施策】 1 生涯スポーツの推進  
 【施策の柱】 (1)スポーツ活動の推進

細 施 策	①総合型地域スポーツクラブの設置・育成								担当課	担当課評価
									スポーツ振興課	B
施 策 の 内 容	誰もが、いつでも、どこでもスポーツに取り組めるようにするため、各地域で地域住民が自主的に運営する総合型地域スポーツクラブの設置・自立を支援し、クラブ間ネットワークを構築していきます。									
平 成 2 8 年 度 績	福原地区における「総合型地域スポーツクラブ」が「ふくはらスポーツクラブ」として発足し、平成28年4月から活動を開始しました。また、先進クラブの視察や地域住民のニーズに応じたスポーツ教室を開催できるよう支援をしました。									
指 標 及 び 説 明	【指標】 総合型地域スポーツクラブ設置数					【説明】 市内に創設された総合型地域スポーツクラブの数				
指 標 の 推 移	単 位	現 在 値 (H26)	実 績 値					目 標 値 (H32)		
	件	3	H27	H28	H29	H30	H31	H32	5	
現 状 ・ 課 題	4つの総合型地域スポーツクラブが、それぞれの地域において、スポーツ振興やスポーツを通じた地域づくりなど多様な活動を展開しており、おおむね順調に進捗しています。今後、他の地域にも総合型地域スポーツクラブを設置できるようにしていきたいと考えています。									
改 善 の 方 策 等	他の地域にも総合型地域スポーツクラブを設置できるように、今後も継続して情報提供を図ってまいります。									

細 施 策	②スポーツ教室・大会等の充実				担当課	担当課評価
					スポーツ振興課	B
施 策 の 内 容	市民のスポーツ活動へのきっかけをつくり、それを継続していけるようにするため、ライフステージに応じた、魅力あるスポーツ教室・大会等の充実を図っていきます。					
平 成 2 8 年 度 績	多くの方がスポーツに親しむことができるよう、様々なスポーツ教室や「生涯スポーツフェスティバル」「小江戸川越ハーフマラソン2016」等の特色ある大会を実施しました。特にスポーツ教室では、新たな種目の教室を開催し、市民のスポーツ活動へのきっかけづくりに努めました。					
成 果 実 績	項 目 名 ( 単 位 )	H26	H27	H28		
	生涯スポーツフェスティバル参加者数(人)	2,768	2,722	2,594		
	スポーツ教室参加者数(人)	569	479	496		
現 状 ・ 課 題	教室・大会の実施にあたっては、新たな種目を取り入れるなど内容を充実させるように努めており、おおむね順調に進捗しています。					
改 善 の 方 策 等	市民のスポーツに対する実態やニーズを考慮し、各教室・大会の内容の更なる充実を図ってまいります。					

【方向性】 V－生涯スポーツの推進  
 【施策】 1 生涯スポーツの推進

施策の柱		(1) スポーツ活動の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①総合型地域スポーツクラブの設置・育成	スポーツ振興課	B	B	B
	②スポーツ教室・大会等の充実	スポーツ振興課	B		
学識経験者等 意見	なし				

【方向性】 V－生涯スポーツの推進  
 【施策】 1 生涯スポーツの推進  
 【施策の柱】 (2)スポーツ環境基盤整備

細 施 策	①スポーツ指導者等の養成・活用				担当課	担当課評価
					スポーツ振興課	B
施策の内容	各スポーツ団体等を育成・支援するとともに、市民のニーズに合わせて適切な指導ができるようにするため、スポーツ指導者等の養成に努め、その活用を図ります。					
平成28年度実績	体育協会加盟団体が、それぞれの種目ごとに技術講習会や審判講習会を行い、適切な指導ができるようにスポーツ指導者の養成に努めました。また、スポーツ少年団の指導者に対し、認定員を養成する講習会を行いました。					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	指導者養成講習会実施団体数(団体)	30	30	30		
	スポーツ少年団スポーツリーダー養成講習会参加者数(人)	77	98	49		
現状・課題	体育協会加盟団体31団体中30団体が指導者養成講習会を行っています。スポーツ少年団開催のスポーツリーダー養成講習会の参加者数は減少していますが、これは資格を持った指導者が増えたためです。上記団体以外にもスポーツ推進委員連絡協議会や女性スポーツ団体連絡協議会でも、指導者養成のための研修を行っており、おおむね順調に進捗しています。					
改善の方策等	講習会や研修会の内容を各地域や各団体で生かすことができるよう、スポーツ指導者の活用について検討してまいります。					

細 施 策	②スポーツ施設の整備・充実							担当課	担当課評価
								スポーツ振興課	B
施策の内容	既存のスポーツ施設を利用者がより安全かつ安心して使えるよう、整備・改善を行うとともに、スポーツ活動の場の充実のため新設体育館の建設に取り組みます。								
平成28年度実績	利用者がより安全かつ安心して使えるよう、川越運動公園陸上競技場の2種公認改修工事をはじめとした施設の維持管理のための工事・修繕を行いました。また、新設体育館については、交通量調査や周辺住民に対する影響などについて調査を行いました。								
指標及び説明	【指標】 施設利用人数				【説明】 川越運動公園(総合体育館・陸上競技場・テニスコート)の利用人数				
指標の推移	単位	現在値(H26)	実績値				目標値(H32)		
	人	287,170	H27	H28	H29	H30	H31	H32	293,500
現状・課題	既存のスポーツ施設の改修工事については計画的に行うことができていますが、施設の老朽化も進んでいることから、小規模な修繕等に早急に対応していく必要があります。								
改善の方策等	今後も利用者がより安全かつ安心して使えるよう工事・修繕等を行ってまいります。								

【方向性】 V－生涯スポーツの推進  
 【施策】 1 生涯スポーツの推進  
 【施策の柱】 (2)スポーツ環境基盤整備

細 施 策	③学校体育施設の活用			担当課	担当課評価
				スポーツ振興課	B
施 策 の 内 容	地域のスポーツ活動をより身近な施設で行っていくために、学校体育施設を地域に開放し多くの市民がスポーツに親しむ場を提供していきます。				
平 成 2 8 年 度 績	市民の身近なスポーツの場として、学校体育施設開放事業として市内小・中学校52校を開放し、夏には霞ヶ関北小学校水泳プール開放事業や学校プール開放事業を行いました。				
成 果 実 績	項目名(単位)	H26	H27	H28	
	学校開放利用者数(人)	402,384	399,983	432,787	
	霞ヶ関北小プール開放利用者数(人)	1,259	工事のため開放なし	745	
現 状 ・ 課 題	市民に広く認知され、身近なスポーツの場として安定した利用がされており、おおむね順調に進捗しています。				
改 善 の 方 策 等	事業の周知に努め、今後も市民の身近なスポーツの場として開放してまいります。				

【方向性】 V－生涯スポーツの推進  
 【施策】 1 生涯スポーツの推進

施 策 の 柱	(2)スポーツ環境基盤整備				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①スポーツ指導者等の養成・活用	スポーツ振興課	B	B	
	②スポーツ施設等の整備・充実	スポーツ振興課	B		
③学校体育施設の活用	スポーツ振興課	B			
学 識 経 験 者 等 意 見	新設体育館の設置については、できるだけ早くお願いしたい。				B